

# 解体新書塾～公民館・地域自治のあり様を問い直す自治体間共同研究

## 飯田研究会 開催要項

昨年5月、日本地域開発センター「地域開発」5月号で、「地域づくりのメッカを目指す南信州・飯田の試み」が特集されました。体験教育旅行、市民ファンドによる太陽光発電の取組、人形劇のまちづくりなど、飯田から全国にむけて多彩な発信が行われる源泉は、地域ごとに配置された公民館・自治振興センターを拠点に展開される住民自治の取組と、その取組を市役所職員が支える「市民協働」のしくみにある、と特集ではまとめられています。

21世紀初頭、私たちの暮らす地域や社会は様々な問題に直面しています。

地域人材の育成、安心して暮らすための担保としての健康増進と介護予防活動、地域産業の育成&雇用の創出、環境を巡る学びと実践、災害復興とそのコンセンサスづくり、地域防災と日々の営みのつなぎ直し、農業・商業の担い手対策、中心市街地の再生、自殺防止と虐待対応、見守りと声かけや安否確認、そして、郷土愛の涵養、多様性を認め合う意思決定の仕組み、シチズンシップ・自治の育成、協働のまちづくり等々。

溢れんばかりの今日的な課題に、私たちが立ち向かおうとするときに、飯田型の「市民協働」のしくみを改めて見直し、多彩な人々が集い諸問題に取組み、解決を探るための「共創の場」として発展させていくことが必要です。

そういう共創の場づくりを進めるために、兵庫県尼崎市、長野県松本市と共同し「解体新書塾～公民館・地域自治のあり様を問い直す自治体間共同研究」を開催する運びとなりました。その第1回目である飯田研究会を次のとおり開催いたします。

ぜひ多くの皆様の参加をお待ちしています。

### 1 主催 飯田市教育委員会（主管 飯田市公民館）

### 2 飯田研究会のテーマ 「住民自治を支える職員はどのように育つのか」

### 3 日時 10月18日(土)午後1時から20日(月)午後2時30分まで

### 4 会場 天龍峡研修センター及び天龍峡温泉交流館他

(飯田市川路 4992-1 tel 0265-27-4011)

## 5 概要

### (1) 全体構成

飯田市職員及び職員に寄りそう住民リーダーへのグループインタビューと講義・視察を加えた研究会

### (2) グループインタビューのカテゴリー

- ① 現役公民館主事
- ② 公民館主事OBのうち、他部署で活躍している現役職員
- ③ 公民館主事OBで退職後も活躍している方
- ④ 公民館主事の経験はないけれど一住民の立場で公民館運営に関わっている職員
- ⑤ 公民館活動や役員の経験はないけれど、現場主義で頑張っている職員
- ⑥ 公民館主事の相談相手とし地域で頑張っている住民リーダー

## 6 日程

10月18日(土) 天龍峡研修センター			
13:00	20分	開会	あいさつ・オリエンテーション
13:20	60分	講義1「飯田型公民館の組織と活動」	飯田市公民館 木下巨一
14:20	20分	休憩	
14:40	60分	講義2「自治体職員に求められる力量とは」	高橋寛治氏(元公民館主事、元飯田市産業経済部長、元高野町副町長)
15:40	90分	グループインタビュー1 「現役公民館主事に聞く」	
17:10	休憩		
17:30	90分	グループインタビュー2 「公民館主事を経験した現役職員に聞」	
19:00		夕食交流会(天龍峡温泉交流館食堂にて)	
10月19日(日) 天龍峡研修センター			
8:30	90分	グループインタビュー3 「公民館役員を経験した職員に聞く」	
10:00	120分	現地研修「川路地区文化祭見学」	
12:00	30分	講義3「惣菜さくらの取組から」	宮沢俊子氏(惣菜さくら代表)
12:30	45分	昼食(惣菜さくらのお弁当)	
13:15	90分	グループインタビュー4 「現場主義で働く職員に聞く」	
14:45	15分	休憩	
15:00	120分	グループインタビュー5 「公民館主事に寄り添う住民に聞く」	
17:00	20分	休憩	
17:20	50分	講義4 「住民・行政・公民館の関係を考える」	長谷部三弘氏(元公民館副館長、鎮守の杜風土舎代表)
18:10	50分	講義5 「草創期公民館の原点を振り返る」	伊藤学司氏(長野県教育長、元文科省社会教育課長)
19:00		夕食交流会(天龍峡温泉交流館食堂にて)	
10月20日(月) 天龍峡研修センター			
8:30	90分	まとめの会1 「参加者によるWSと発表」	
10:00	20分	休憩	
10:20	70分	まとめの会2 「現場からのまとめ」	船木成記氏(尼崎市顧問) 矢久保学氏 (松本市地域づくり本部長) 高橋寛治氏(元飯田市公民館主事)
11:30	30分	講義6「川路そば普及組合の取組から」	
12:00	60分	昼食(川路そば普及組合のそば定食)	川路そば普及組合の皆さん
13:00	90分	まとめの会3 「研究者の知見に学ぶ」	諸富徹氏(京都大学) 八木信一氏(九州大学) 太田隆之氏(静岡大学) 牧野篤氏(東京大学) 荻野亮吾氏(東京大学)
14:30	閉会		





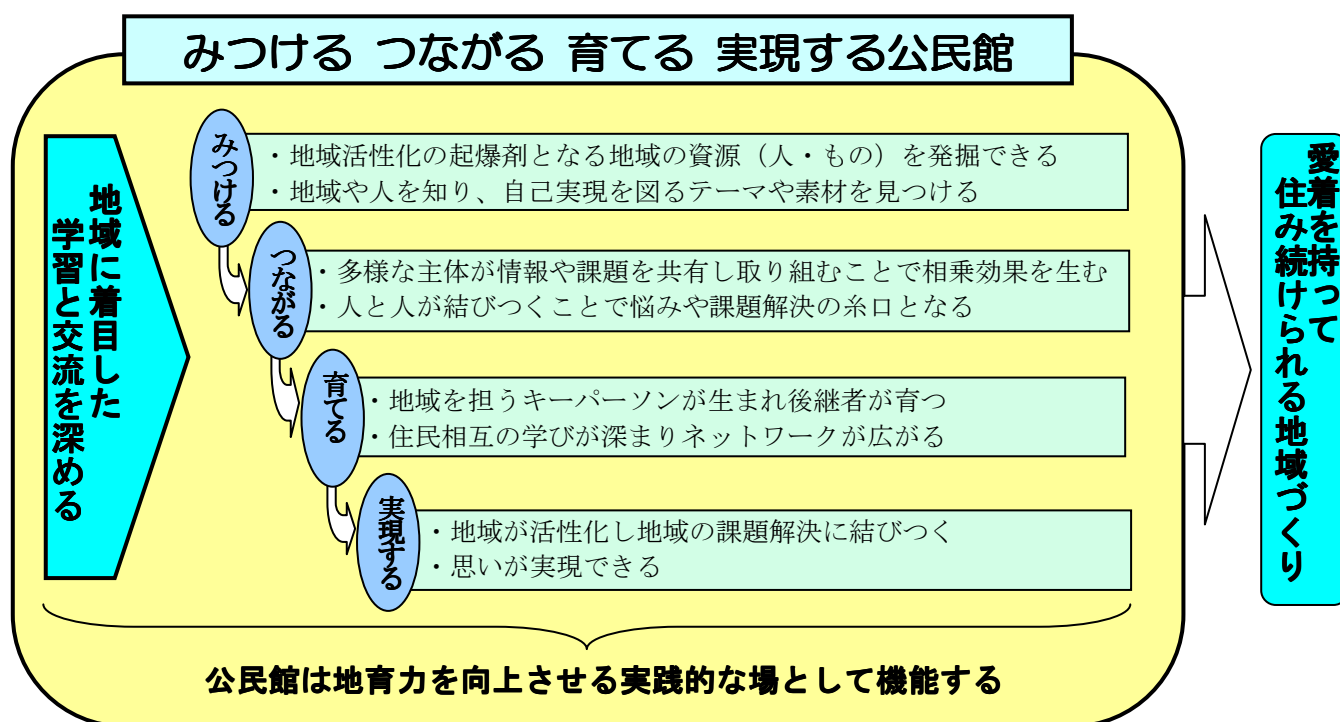
# 平成26年度飯田市公民館基本方針

## 1 目指す都市像の実現に向けて公民館が果たすべきこと

飯田市では、平成19年度から「住み続けたいまち 住んでみたいまち 飯田 人も自然も輝く 文化経済自立都市」を目指す都市像に掲げた第5次基本構想基本計画、自治基本条例、地域自治組織など市政の新しい枠組みがスタートしました。飯田市の公民館は、まちづくり委員会の構成団体であるとともに、社会教育法に基づく教育機関としての2面性を持っています。地域の諸団体と連携協力を図りつつ、住民の自由な学習活動を支援する地育力向上の拠点となっています。

戦後まもなく発足した飯田市の公民館は、地域に密着して、市民の自由な文化学習活動を支援し、地域づくりの基盤である人づくりに大きな役割を果たしてきましたが、社会、経済など公民館を取り巻く環境は大きく変容しています。とりわけ、三遠南信自動車道の全通と2027年開通をめざしルート・駅位置が確定したりニア中央新幹線時代を見据えた持続可能な地域づくりが今後益々重要になります。そのためには、東日本大震災から地域の絆の大切さを再認識した今、公民館活動から「結いの心」を紡いでいく必要があります。

そこで飯田市の公民館は、住民による自立した地域経営に向けて、今後も引き続き地域に着目した学習と交流を深める役割を担い、「みつける つながる 育てる 実現する場」として愛着を持って住み続けられる地域づくり、人づくりの一翼を担っていきます。



## 2 公民館の具体的な役割

公民館は、地育力向上の拠点として地域の特色ある自然や文化を基底に、地域住民の学習と交流を図ります。少子高齢化や地域への帰属意識の希薄化など様々な地域の課題解決に向けた学習を支援することで、コミュニティ意識の醸成や地域の担い手づくりを目指します。公民館の具体的な役割は次のとおりです。

- (1) だれもが気軽に利用し活動できる「自由なたまり場」
- (2) 参加者の自主性・創造性を活かし仲間づくりを図る「集団的な活動と交流の場」
- (3) 先人が築いた歴史・文化を大切に今に活かす「歴史を伝え文化を創造する場」
- (4) 住民の生涯にわたる学習や学習のグループ化を支援し様々な地域の課題に対応できる「学習の場」
- (5) 人が人として尊ばれ差別なく暮らせる「人間尊重の精神を学びあう場」
- (6) 地域の絆を深め健康で心豊かな人づくりを図る「スポーツ・レクリエーションの場」
- (7) 子どもたちが健やかに育つとともに故郷に愛着と誇りを持てる「地域の良さを再発見する場」
- (8) 地域のさまざまな出来事を記録し情報を提供・発信する「情報授受と発信の場」

### 3 飯田市の公民館活動の基本理念「4つの運営原則」

昭和46年、飯田市は文部省の委嘱を受けて「公民館運営基準の研究」（管理運営に関する事項および運営の指針に関する事項）を始め、昭和48年にまとめました。この運営基準研究の中で次に掲げる「公民館運営の4原則」が確認されました。時代は変化してもこの理念を尊重しつつ、公民館が果たすべき役割を担っていきます。

#### (1) 地域中心の原則

まちづくりを考えると、日常的に身近な地域から出発することが大切である。地域ごとに設置された公民館は常に地域を中心としてとらえた学びの場であるべきである。

#### (2) 並立配置の原則

地域の規模や特徴は異なっても、公民館は20地区に対等に配置され、それぞれの活動が等しく尊重される。この原則は地域中心の原則を保障するものである。

#### (3) 住民参画の原則

公民館を設置し、そこに職員を配置することは行政の役割であるが、公民館の事業の企画運営は、地域住民によって組織された専門委員会や運営委員会、より身近な住民の単位である分館活動など、それぞれの事業が自発的な住民の意思に基づいて行われることが大切である。このような組織や活動は、飯田市の公民館活動の原動力になっている。

#### (4) 機関自立の原則

教育行政が一般行政から一定の独立性、中立性を保っていることに鑑み、公民館が地域の社会教育機関として住民の主体的な学習活動を保証することは大切である。その意味で公民館が自立した体制をもっていることは重要である。

### 4 「4つの運営原則」に基づく主体的な公民館活動の展開に向けて

地域自治組織のまちづくり委員会で各地区の公民館は、引き続き学習と交流を起点に地域内の連携協力を図り、住民自治の充実に必要な地域の社会教育機関として地育力向上の拠点を担います。

- (1) 各地区の公民館が設置する専門委員会は、「住民参画の原則」に基づいて地域を素材に学習と交流を促進する事業を主体的に企画立案し運営します。
- (2) 分館は、最も身近なコミュニティ形成の場であり日常のたまり場として、身近な課題の解決に取り組むなど住民同士のふれあいを大切にしながら主体的な活動を展開します。

### 5 重点目標

以上を踏まえ、以下の事項を平成26年度の重点目標として取り組みます。

- (1) NPO法人を始めとした志縁団体や、地域で活動する地縁団体などの多様な主体との連携を強化し、それら団体と地域を結ぶ媒介機能の構築を目指します。
- (2) 地域内だけでなく幅広い交流を図りながら学習を起点に地域の資源を再認識して、地域の価値を文化的、経済的に高める取り組みを進めます。
- (3) 地域で最も身近な社会教育機関として、「飯田市小中連携・一貫教育」を地域から支え、学校と地域や多様な主体がつながるために実践的に取り組みます。
- (4) 地域を愛し、理解し、地域に貢献する人材を育てる「地域人教育」及び「高校生講座」に積極的に取り組みます。
- (5) 共通の地域課題に取り組む公民館をネットワークし、新たな枠組みによる学習と交流活動を推進するとともに、課題解決につなげる高等教育機関等内外の知見を取り入れた学習活動を展開します。
- (6) 各地区に内在する様々な地域の課題解決のために次の事業に取り組みます。
  - ① 子どもを持つ親を対象に親や子の仲間づくりを図るとともに、子どもが健やかに育ち、発達段階に応じた基本的な生活習慣の習得を支援する学習の機会を提供します。
  - ② 国籍にかかわらず住民相互に理解し合える関係をつくるために、多文化交流や日本語や外国語の学習の機会を提供します。
  - ③ 「いいだ人形劇フェスタ」を地域から支えてまちづくりにつなげる取組を推進するほか、身近なところで様々な芸術文化に触れ、創造する機会を提供します。
  - ④ 住民が郷土への関心を高め、愛着を持てるような多彩な学習の機会を提供します。
  - ⑤ 食育、親子の栄養と健康、生活習慣病予防、習慣的な運動等の面から健康学習の機会を提供します。
  - ⑥ 身近な自然体験型活動から世界規模の地球温暖化防止まで多彩な環境学習の機会を提供します。

## 平成26年度 飯田市公民館の事業計画

平成26年度飯田市公民館基本方針に基づいて、飯田市公民館（連絡調整を担う飯田市公民館（以下「市公民館」という。）と20地区公民館）が展開する主な事業を次のとおり計画します。

### 1 20地区公民館と市公民館は合同して以下の事業を展開します。

#### (1) 第52回飯田市公民館大会

公民館関係者や広く市民を対象にして、1年間の公民館活動を総括して更なるステップアップを図る機会として、平成27年2月15日（日）に開催します。

#### (2) いいだ人形劇フェスタ2014

いいだ人形劇フェスタは、8月5日（火）～10日（日）に開催されます。いいだ人形劇フェスタ実行委員会と連携した取組を行うとともに、地区実行委員会の充実を図って地区からフェスタを盛り上げ、人形劇を通じた地域づくりの土壌を醸成します。

#### (3) 飯田市成人式

飯田市成人式は、平成27年1月11日（日）に新成人の一番身近な居住地域・出身地域を単位に全市一斉で開催します。各地区では、新成人を含めた成人式実行委員会を組織し、新成人が多様な活動を通じて地域を知り、地域との関わりを持てる学習を深めることで、地域に愛着と誇りを持ち、将来における自己のあり方を見つめる機会とします。

#### (4) 小中連携・一貫教育推進

平成25年度から全中学校区に導入された小中連携・一貫教育を地域から支え、地域と学校の特色を生かした取り組みを推進します。

### 2 20地区公民館は、専門委員会が主体的に事業を企画して展開するほか、多様な分野で学びの機会を設けることで、地域で学習と交流を深めます（カッコ内は例示。）。

- |                                    |            |
|------------------------------------|------------|
| (1) 乳幼児親子が学ぶ（乳幼児学級など）              | …重点目標(6)-① |
| (2) 学齢期親子が学ぶ（家庭教育講座・講演会など）         | …重点目標(6)-① |
| (3) 人権平和や多文化を学ぶ（人権講座、中国帰国者支援事業など）  | …重点目標(6)-② |
| (4) 地域で芸術文化に触れる（ふるさとコンサート、人形劇公演など） | …重点目標(6)-③ |
| (5) 身近な地域を素材に学ぶ（ふるさと探訪、歴史学習会など）    | …重点目標(6)-④ |
| (6) 健康で生き生き暮せる学び（男の料理教室、健康教室など）    | …重点目標(6)-⑤ |
| (7) 身近に環境を学ぶ（みんなの環境学習講座、水生生物観察会など） | …重点目標(6)-⑥ |
| (8) 多彩な学びと交流（女性学級、高齢者学級など）         | …重点目標全て    |

### 3 市公民館は、市民の学習と交流を深めるために以下の事業を主管して展開します。

#### (1) 地域人教育支援事業

飯田OIDE長姫高校、松本大学、飯田市の3者で引き続き「地域人教育パートナーシップ協定」を締結し、地域を愛し、理解し、地域に貢献する人材育成に取り組みます。

#### (2) 高校生講座

海外との比較の中でふるさと飯田の魅力を再認識し、地域に誇りと愛着を持ちつつ、グローバルな視点で地域の将来ビジョンをデザインできる人材を育成します。

### **(3) 飯田市民大学講座**

引き続き「伊那谷の自然と文化」をテーマにして第38回飯田市民大学講座を開講します。講座の内容等は運営委員会で企画します。

### **(4) 人権平和・多文化学習事業**

地域の国際化に対応するために、平和学習を通じた人権・平和の意識向上を図るとともに、外国籍住民への日本語教育を柱とした多文化共生事業を展開します。

### **(5) 子育て講座と子育てサークル支援事業**

子育てリーダーグループ「トライアングル」の支援を軸とした子育てネットワークの充実を図るとともに、飯田女子短期大学と連携しその専門的な知見を活かした子育て講座等を開催します。

### **(6) 小学生の基本的な生活習慣に関するアンケート調査**

市内の小学生の基本的な生活習慣の習得状況などを把握し、公民館やPTAの家庭教育などに関する事業の教材として役立てることなどを目的に、小学校の協力を得て調査を実施します。

### **(7) 飯田市女性バレーボール大会**

バレーボール連盟の協力を得て、参加チームの主体的な運営参加により開催します。会場は上郷体育館と高陵中学校体育館で、11月16日（日）に開催します。

### **(8) 第39回公民館コーラスグループ発表会**

各公民館を拠点に活動するコーラスグループが実行委員会を組織し、自主運営方式で開催します。会場は飯田市公民館で、平成27年2月22日（日）に開催します。

### **(9) JICA 草の根技術協力事業**

フィリピン・レガスピ市における住民自治組織づくりを支援するとともに、住民自治組織の活動拠点である「公民館」の建設と、公民館を拠点とした地域コミュニティ形成のための住民自治活動の支援に取り組みます。

### **(10) 着地研究会（仮称）**

定年退職を控えた世代を対象に、退職後の地域へのスムーズな着地をめざし、これまでのキャリアを活かしたライフスタイルを自らデザインすることができるための講座を開設します。

## **4 その他**

### **(1) 第62回天龍峡夏期大学講座**

教養を高め今日的課題を考える契機とするとともに、地域への誇りを醸成することを目的として、川路公民館が開催します。

### **(2) 飯田ムトス大学事業**

地区公民館ごとに取り組む地域課題・生活課題をテーマとした重点事業を、新たな枠組みとして共通の課題を持つ複数地区をネットワークし共有することで、地域の垣根を越えた地域課題解決に向けた取り組みを推進します。

### **(3) 大学と連携した地域課題解決の実践的展開**

東京大学大学院との共同調査・学習を始めとした高等教育機関等と連携して、地域に内在する課題解決に向けて実践的に取り組みます。

### **(4) ブロック公民館事業**

20地区の公民館を4つに編成したブロック公民館では、スポーツ行事等を通じた他地域との交流や、公民館役員対象の研修会及び情報交換会を実施します。

### **(5) 主事会プロジェクト事業**

公民館主事会ではプロジェクトチームを編成して、公民館を取り巻く様々な課題解決のために実践的な学習や研究に取り組みます。



## 飯田市公民館のあゆみ

この地域は、大正期の自由画教育や青年運動から生まれた伊那自由大学などに代表される歴史的・風土的な教育の土壌や、戦後直後からの青年会や婦人会の自主的な学習活動などを背景に、全国に先駆けて公民館が設置されました。

飯田市は、昭和12年に飯田町と上飯田町が合併し誕生しました。以来6回にわたり町村合併が行われましたが、そのつど旧町村単位に独立公民館（以下「地区公民館」）と職員を配置してきました。旧飯田地区（橋北・橋南・羽場・丸山・東野）は、昭和43年に1館制から5館に分離し、それぞれ地区公民館として位置づけられました。その後も平成5年7月1日に上郷町、平成17年10月1日に上村、南信濃村と合併し、現在は中央館の役割を担う飯田市公民館（以下「市公民館」）と、20の地区公民館が独立、並列方式により配置されています。

市公民館は、全市民を対象とした事業や地区公民館相互の連絡調整を図る機関として、また地区公民館は住民の身近な公民館として、地域課題や生活課題に対する学習や交流などを通じて住民の主体的な活動を支援し、地域の特色を生かした個性豊かで魅力ある地域づくりの一端を担ってきました。

昭和48年に文部省の委嘱を受け、公民館の運営基準について自ら研究し導き出した4つの運営原則「地域中心」「住民参画」「並列配置」「機関自立」の考え方は、飯田市の地域づくりに対する公民館の姿勢を反映したものであり、今も活動の基本方針となっています。

なお飯田市は、平成19年4月に新たな住民自治の仕組みとして「地域自治組織」を導入しました。これにより公民館は、社会教育法にも基づき市が設置する社会教育機関であるとともに、地域自治組織を構成するまちづくり委員会の1委員会に位置付けられました。

## 飯田市公民館の運営組織

市公民館には、館長会の互選で選出された市公民館長（非常勤特別職）、市公民館長を補佐する副館長（課長職）、学習支援係（係長、主事、学習支援係、社会教育コーディネーター）、管理係（係長、管理係）が職員として配置されています。また、市内全ての地区公民館の館長・主事で構成される館長会及び主事会が置かれ、公民館職員の相互研鑽の場になっています。

地区公民館には、非常勤特別職の館長と常勤専任の公民館主事が配置されています。また、人口規模の大きな地区である松尾・竜丘・伊賀良・鼎・上郷公民館、自治振興センターが併設されていない旧市5地区の公民館及び南信濃公民館には、管理係が配置されています。

地区公民館には、飯田市の公民館活動の4つの運営原則の一つである住民参画の原則を保障し、住民主体の公民館活動を展開するため「専門委員会」が設置されています。専門委員会の設置状況は地区によって異なりますが、主に文化委員会、体育委員会、広報委員会、青少年育成委員会などが組織されています。専門委員会の名称、人数、役職、任期は公民館長が定めることとなっており、町内あるいは分館からの推薦や地区内全域から適任者を選び、公民館長が委嘱します。（詳細は、P8「専門委員会の設置状況」を参照）

多くの地区公民館のもとに、集落単位を基本とする「分館」が組織されています。現在飯田市には103の分館（休館を除く）があり、住民に最も身近な公民館として、住民の手によって主体的に運営されています。

また地区公民館は、隣接する地域や中学校区などつながりの強い地域同士で「ブロック」を組織しています。現在は20の地区公民館で4つのブロックを組織し、ブロック内で連携しながら事業を展開しています。

## 飯田市公民館の活動

飯田市の公民館は、地域住民の学習、交流の場として、住民自らが自由闊達な学習活動やグループ活動を展開しています。

公民館が実施する学級や講座は、乳幼児やその保護者を対象としたものから高齢者の生き甲斐づくりまで全ての世代を対象にしたものであり、学習内容も個人的な教養を高めるものから地域課題や生活課題を捉えた組織的な学習活動まで、幅広い学習を展開しています。実施にあたっては、公民館職員が中心となって開催するものや、運営委員会や実行委員会などを組織し市民参画のもと開催するものなど形態は様々ですが、学習や交流の機会を通じて主体的な人材の育成に寄与しています。

専門委員会の活動は、住民自らがアイデアを出し合い、それぞれの地域の特色を活かした様々な事業を展開しています。専門委員会は公民館運営の母体であり、住民が事業の企画段階から主体的に関わることにより地域を知り、地域を担う人材育成の場として機能しています。

(詳細は、P16「専門委員会等事業一覧表」を参照)

分館は、住民の生活に一番身近な公民館であり、子どもから高齢者まで日常的な学習や交流の場になっています。分館では、なによりも住民同士のふれあいや交流を大切にし、分館独自の事業を主体的に展開しています。また、地区公民館と密接につながり、一体となって公民館の活動を支えています。

## 飯田市公民館の事業

### 市公民館事業

- ・全市民を対象とした事業
- ・新たな地域課題、生活課題に対応し、地区公民館に波及することをねらったモデル的な事業の実施やそのための指導者の育成
- ・地区公民館活動が円滑に展開されるためのネットワーク事業

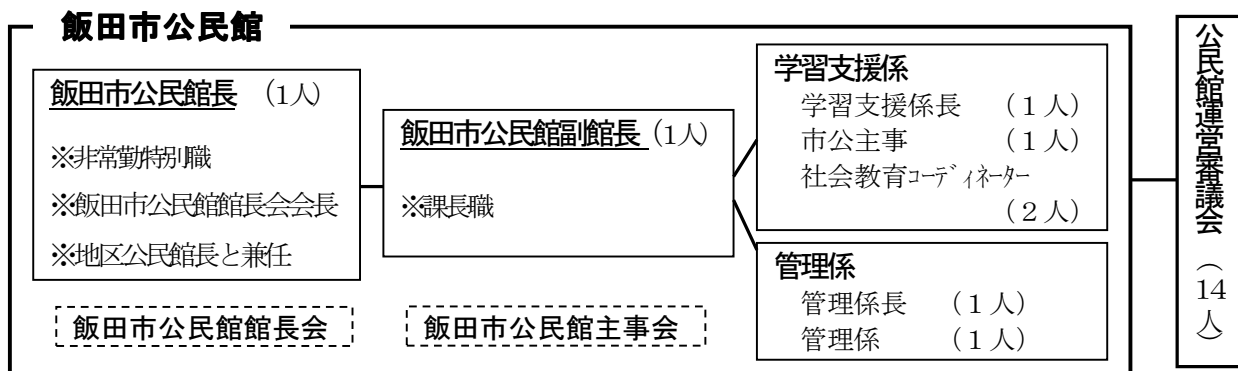
### ブロック事業

- ・地区公民館単独では実施困難な事業
- ・地区公民館事業の継続発展した事業
- ・ブロック内での情報交換、相互研鑽

### 地区公民館事業

- ・住民要望に基づく学級講座
- ・専門委員会が企画する地区独自の事業
- ・コミュニティを醸成する各種の事業
- ・学習相談、学習情報の提供及び施設設備の提供

# 飯田市公民館の運営組織図



## 地区公民館

(人口は平成25年2月末現在)

公民館名	ブロック体制	人口 (人)	職員体制 (人)			
			公民館長※1	副館長補※2	公民館主事※3	管理係
橋北公民館	A ブロック	3,372	1	—	1	1
橋南公民館		3,012	1	—	1	1
羽場公民館		5,210	1	—	1	1
丸山公民館		3,720	1	—	1	1
東野公民館		3,145	1	—	1	1
座光寺公民館	B ブロック	4,696	1	1	1	—
山本公民館		5,155	1	1	1	—
伊賀良公民館		14,670	1	1	1	1
鼎公民館		13,601	1	1	1	2 ※4
上郷公民館	C ブロック	14,357	1	1	1	1
松尾公民館		12,919	1	1	1	1
下久堅公民館		3,143	1	1	1	—
竜丘公民館		7,057	1	1	1	1
上村公民館		500	1	1	1	—
南信濃公民館		1,720	1	1	1	1
上久堅公民館		1,466	1	1	1	—
千代公民館		1,836	1	1	1	—
龍江公民館	D ブロック	3,041	1	1	1	—
川路公民館		2,003	1	1	1	—
三穂公民館		1,524	1	1	1	—
計		106,147	20人	15人	20人	12人

### 専門委員会の設置

※委員は館長が委嘱。名称、委員数、役職及び任期は館長が定める。  
～住民参加による主体的な企画・運営～ (20館共通)

- ※1 公民館長は地域協議会が推薦し教育委員会が任命する。(非常勤特別職)
- ※2 副館長補佐は自治振興センター所長が任命され、センター業務と公民館業務の連携調整を図る役割を担っている。(旧市5地区は除く)
- ※3 公民館主事は常勤専任。自治振興センター職員の兼務辞令を受けている。
- ※4 うち1名は社会教育コーディネーター。

### 分館

現在、103の分館が、市民の手によって自主的に運営されている。

## 地区公民館の専門委員会設置状況

公民館名	名称	人数	任期(年)	公民館名	名称	人数	任期(年)
橋北公民館	文化部	10	2	龍江公民館	文化部	6	2
	体育部	10	2		体育部	8	2
	広報部	10	2		青少年健全育成部	6	2
	育成部	10	2		新聞部	13	2
橋南公民館	文化委員会	11	2	竜丘公民館	文化委員会	15	2
	体育委員会	10	2		体育委員会	23	2
羽場公民館	文化委員会	12	2		広報委員会	10	2
	体育委員会	13	2		民俗資料保存委員会	9	2
	広報委員会	8	2	育成委員会	7	2	
	育成委員会	11	2	川路公民館	文化部会	10	2
丸山公民館	文化部会	11	2		体育部会	14	2
	体育部会	12	2		広報部会	9	2
	広報部会	4	2	三穂公民館	文化委員会	14	2
	青少年健全育成部会	13	2		体育委員会	15	2
東野公民館	文化部	7	2		女性委員会	14	2
	体育部	18	2		広報委員会	8	2
	広報部	8	2	山本公民館	文化委員会	20	2
	育成部	17	2		体育委員会	20	2
座光寺公民館	文化部	17	2	伊賀良公民館	文化部	24	2
	体育部	11	2		体育部	28	2
	広報部	13	2		広報部	21	2
	育成部	22	2	鼎公民館	文化委員会	12	2
松尾公民館	文化委員会	20	2		体育委員会	16	2
	体育委員会	21	2		広報委員会	12	2
	広報委員会	16	2	上郷公民館	文化部会	11	2
	総務企画委員会	8	2		体育部会	15	2
下久堅公民館	文化部	15	2		広報部会	11	2
	体育部	19	2	青少年健全育成部会	11	2	
	広報部	11	2	上村公民館	文化委員会	4	2
	育成部	15	2		体育委員会	4	2
上久堅公民館	文化委員会	11	2		広報委員会	4	2
	体育委員会	12	2	南信濃公民館	文化委員会	8	2
	広報委員会	10	2		体育委員会	11	2
千代公民館	文化委員会	17	2		広報委員会	7	2
	体育委員会	17	2	計			
	広報委員会	12	2				
	青少年育成委員会	14	2				

# 飯田市の分館

地区名	分館名	分館世帯数	地区名	分館名	分館世帯数	地区名	分館名	分館世帯数
橋北	★江戸浜	117	千代	法山	82	東野	★東鼎	165
橋南	なし			大郡	65		★西鼎	122
羽場	なし			米峰	28		★下茶屋	200
丸山	なし			毛呂窪	69		★中平	636
東野	吾妻町南	56	龍江	八ノ倉	21		★上茶屋	157
	東新町1	67		下村	83		★切石	861
	錦町	69		第一	256		★上山	932
	高羽町東	248		第二	278		★一色	391
	宮の前	休館	第三	310	★名古屋	706		
	宮ノ上	258	第四	162	★上黒田	632		
	諏訪町	73	駄科	844	★下黒田北	995		
座光寺	なし	長野原	440	★下黒田南	783			
松尾	上溝	327	竜丘	★時又	371	★下黒田東	661	
	久井	176		桐林	550	★丹保	344	
	★水城	305	川路	上川路	132	★北条	417	
	★新井	393		2	49	★飯沼南	350	
	寺所	232		3	47	★南条	284	
	★明	485		4	104	★別府上	329	
	★清水	230		5	41	★別府下	558	
	城	486		6	108	上村	上町	71
	八幡町	358		7	112		中郷	42
	代田	746		8	159		程野	55
	毛賀	649	三穂	なし	下栗		49	
常盤台	395	山本	東平	304	和田橋北	177		
下久堅	知久平		250	大明神	120	和田橋南	374	
	★虎岩		148	北平	172	八重河内	58	
	柿野沢		91	中平	68	木沢	119	
	稲葉		休館	西平	39	南和田	72	
	小林		49	南湯川	121	<p><b>以下103分館（休館を除く）</b></p> <p>※うち条例分館は27館（★の印）</p> <p>※世帯数は、平成25年度分館世帯数（平成26年2月調査）</p>		
	南原		149	竹佐	156			
	下虎岩		294	箱川	69			
上久堅	1	107	久米	93				
	2	78	二ツ山	95				
	3	103	下殿岡	350				
	4	90	上殿岡	455				
	5	84	三日市場	388				
	6	54	伊賀良	北方	1893			
千代	北部	43	鼎	大瀬木	1239			
	芋平	20		中村	651			
	野池	81		三尋石	184			
	米川	117		★下山	744			

## 公民館の予算及び施設の現状一覧表

公民館名	平成25年度当初予算 (単位:円)				施設の現状		
	公 費		地区費	総 計	面積 (㎡)	建設年月	構造
	管理費	事業費					
橋北公民館	74,000	288,000	1,648,000	2,010,000	594.6	S55. 3	鉄骨3
橋南公民館	154,000	276,000	1,433,700	1,863,700	550.9	S59. 3	鉄骨3
羽場公民館	414,000	345,000	2,355,500	3,114,500	937.2	S54. 3	鉄骨2
丸山公民館	314,000	298,000	1,815,000	2,427,000	896.0	S55. 3	鉄骨2
東野公民館	194,000	281,000	1,941,000	2,416,000	644.9	S60. 3	鉄骨2
座光寺公民館	314,000	328,000	5,425,400	6,067,400	901.6	S61. 4	鉄骨2
松尾公民館	474,000	589,000	7,098,000	8,161,000	2114.7	H 2. 3	鉄骨2
下久堅公民館	104,000	268,000	2,960,000	3,332,000	804.7	S53. 4	鉄骨2
上久堅公民館	144,000	227,000	2,571,000	2,942,000	952.2	S56. 3	鉄骨2
千代公民館	124,000	239,000	2,713,000	3,076,000	742.6	S55. 2	鉄骨2
龍江公民館	119,000	277,000	5,127,000	5,523,000	912.7	S59. 3	鉄骨2
竜丘公民館	174,000	402,000	6,942,000	7,518,000	1699.1	H13. 5	鉄骨2
川路公民館	144,000	814,000	2,900,000	3,858,000	777.0	S57. 3	鉄骨2
三穂公民館	144,000	229,000	2,762,000	3,135,000	731.7	S59. 1	鉄骨2
山本公民館	175,000	343,000	3,345,000	3,863,000	1263.6	H 6. 3	鉄骨2
伊賀良公民館	394,000	641,000	7,780,000	8,815,000	1697.4	S63. 3	鉄骨2
鼎公民館	2,760,000	609,000	3,525,000	6,894,000	3678.7	S55. 2	鉄筋4
上郷公民館	190,000	634,000	6,911,000	7,735,000	1428.0	S39. 11	鉄筋3
上村公民館		196,000	1,059,000	1,255,000	130.9	S40. 3	鉄筋3
南信濃公民館		235,000	2,484,000	2,719,000	1548.4	H19.11	鉄筋2
小計	6,410,000	7,519,000	72,795,600	86,724,600	23006.9		
飯田市公民館	1,726,000	4,398,000	—	6,124,000	3,059.80	S51.11	鉄筋4
合計	8,136,000	11,917,000	72,795,600	92,848,600	26066.7		

(説明)

- ・ブロック事業分の予算はブロック幹事の館へ配分している
- ・「公費」は地区へ配分している金額のみで飯田市公民館で一括管理の予算(人件費、修繕費等)は含まれない
- ・「地区費」は地区内における振興交付金からの配分額等であるため地区毎に積算根拠が異なる

# 飯田市各地区公民館利用状況

(平成24年度)

	有料使用			減免使用			無料使用			合計		
	件数	回数	人員	件数	回数	人員	件数	回数	人員	件数	回数	人員
飯田市公民館	164	571	10,166	114	375	29,378	324	1,188	13,187	602	2,134	52,731
ホール	21	66	2,946	36	143	17,516	20	92	1,988	77	301	22,450
会議室	143	505	7,220	78	232	11,862	304	1,096	11,199	525	1,833	30,281
橋北公民館	134	253	4,039	168	226	3,973	1,390	1,529	19,530	1,692	2,008	27,542
橋南公民館	47	81	864	170	190	3,920	489	566	6,219	706	837	11,003
羽場公民館	99	165	1,790	349	548	9,871	947	2,342	36,847	1,395	3,055	48,508
丸山公民館	134	140	1,872	243	309	7,759	1,335	1,458	19,333	1,712	1,907	28,964
東野公民館	60	70	1,136	113	160	2,839	439	1,207	19,167	612	1,437	23,142
座光寺公民館	29	44	1,028	762	1,258	16,528	483	763	8,153	1,274	2,065	25,709
松尾公民館	196	291	7,068	983	1,104	36,101	844	1,914	29,508	2,023	3,309	72,677
下久堅公民館	15	15	313	704	743	12,824	165	321	6,224	884	1,079	19,361
上久堅公民館	8	8	249	247	257	4,959	113	174	1,913	368	439	7,121
千代公民館	10	10	116	196	207	3,451	467	482	5,767	673	699	9,334
龍江公民館	63	67	1,346	578	578	5,338	1,033	1,048	13,614	1,674	1,693	20,298
竜丘公民館	70	113	2,068	287	437	7,916	964	2,494	37,140	1,321	3,044	47,124
川路公民館	14	14	297	347	347	5,203	523	523	6,872	884	884	12,372
三穂公民館	12	12	198	268	275	6,016	334	340	4,902	614	627	11,116
山本公民館	42	42	1,021	201	208	5,486	994	1,060	11,440	1,237	1,310	17,947
伊賀良公民館	195	250	8,043	661	1,019	28,576	1,257	1,620	28,535	2,113	2,889	65,154
鼎公民館	326	566	21,071	535	995	58,436	870	1,781	35,906	1,731	3,342	115,413
ホール	32	68	11,036	105	237	27,953	6	55	7,900	143	360	46,889
会議室	294	498	10,035	430	758	30,483	864	1,726	28,006	1,588	2,982	68,524
上郷公民館	180	272	6,033	348	1,033	22,974	900	1,843	29,889	1,428	3,148	58,896
上村公民館	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南信濃公民館	22	22	505	217	217	6,222	162	162	2,533	401	401	9,260
南信濃学習 交流センター	7	7	110	101	101	1,645	210	210	6,986	318	318	8,741
地区館計	1,663	2,442	59,167	7,478	10,212	250,037	13,919	21,837	330,478	23,060	34,491	639,682
合計	1,827	3,013	69,333	7,592	10,587	279,415	14,243	23,025	343,665	23,662	36,625	692,413

# 平成25年度 公民館学級・講座実施状況一覧表

公民館名	乳幼児教育支援事業	家庭教育支援事業	多文化共生事業	地域芸術文化振興事業
<b>飯田市民館</b> (P20～30参照)	○子育てサークルリーダー交流会 ○妊婦さん向け講座 「ベビーグッズを作ろう」 ○トライアングル活動支援 -フリーマーケット- -子育て情報誌 『おひさま』編集、発行- -子育て講座 「子育てエッセンス」-	○小学生の生活に関する調査	○わいわいサロン ○わいわいサロンⅡ ○子育てとにほんご ○英語サロン ○日本語支援者研修 ○飯田市民大学講座 -農業移民として「満洲国」へ -今、伝えなければならない 満蒙開拓の歴史 -飯田線開通に命を懸けた 川村カネトの生涯に学ぶ	
<b>橋北公民館</b> (P31～35参照)	○2歳児学級 (橋北・橋南・東野地区合同)	○親子和菓子づくり体験 ○新春書き初め大会	○北斗のまち・さわやか講座 -満蒙開拓平和記念館 訪問	○ふるさとコンサート (橋北・橋南・東野3館合同) ○いいだ人形劇フェスタ2013 ○文化研修旅行 ○橋北地区伝統文化保存継承 プロジェクト -お囃子横笛太鼓演奏教室
<b>橋南公民館</b> (P36～43参照)	○0歳児学級「こちよぼこ」 (橋北・橋南・東野地区) ○1歳児学級「さくらんぼ」 (橋北・橋南・東野地区) ○なかよしリズム隊	○家庭教育講演会 -幸せな人生を歩むためにとて も大切なこと- ○親子パン作り講座 ○追手町小学校放課後子ども教 室 ○夏休み子ども教室		○人形劇フェスタ 橋南地区公 演 ○ふるさとコンサート(橋北・橋 南・東野地区) ○伝統文化教室 -天龍太鼓子ども教室- -松一獅子舞教室- ○伝統・文化継承学級「手の芸 の会」
<b>羽場公民館</b> (P44～49参照)	○0-1歳児学級 ○2歳児学級 ○3歳児学級	○家庭教育講演会(羽場・丸山・ 東野地区)	○曙の里講座 人権講座	○ふれあいコンサート(羽場・丸 山地区) ○飯田人形劇フェスタ2013羽場 地区公演 ○羽場地区文化祭
<b>丸山公民館</b> (P50～55参照)	○すくすく学級(0・1歳児) ○2歳児学級 ○3歳児学級	○家庭教育講演会 (羽場・丸山・東野地区合同) ○子育て講演会		○ふれあいコンサート (羽場・丸山地区合同) ○いいだ人形劇フェスタ2013 ○丸山地区文化祭
<b>東野公民館</b> (P56～61参照)	○三館合同乳幼児学級(橋北・橋 南・東野)	○家庭教育講演会(羽場・丸山・ 東野) ○親と子のスポーツ交流会 ○お正月行事	○子どもお楽しみ会「ブラジル の遊びと料理を楽しもう」	○ふるさとコンサート(橋北・橋 南・東野三館合同) ○いいだ人形劇フェスタ2013東 野地区公演 ○第41回東野区民文化祭
<b>座光寺公民館</b> (P62～68参照)	○ひよびよ教室 ○2歳児学級 ○アンパンマンの会	○子育て講演会 ○子育て応援講座		
<b>松尾公民館</b> (P69～73参照)	○1歳児学級 ○2・3歳児学級	○ラフティング体験教室 ○親子パン作り教室	○日中文化交流会 ○飯田カネト松尾公演	○探勝会
<b>下久堅公民館</b> (P74～79参照)	○乳幼児学級ぼっかぼか(いちご グループ 0・1歳) ○乳幼児学級ぼっかぼか(あひる グループ 2・3歳) ○幼児運動実践講座	○親子体験学習 ○子ども工作教室 ○クリスマスお楽しみ会		
<b>上久堅公民館</b> (P80～85参照)	○乳幼児学級「わくわくキッズ」	○上久堅小学校PTA・公民館共 催講演会 ○図書館 冬のお楽しみ会	○多文化ふれあい交流会	○人形劇フェスタ「市内観劇バス ツアー」 ○上久堅陶芸教室



# 平成25年度 公民館学級・講座実施状況一覧表

学習交流推進事業	郷土学習支援事業	健康学習推進事業	環境学習支援事業
<ul style="list-style-type: none"> <li>○第51回飯田市民館大会</li> <li>○高校生講座「カンボジアスタディツアー」</li> <li>○第38回公民館コーラスグループ発表会</li> <li>○第32回飯田市女性バレーボール大会</li> <li>○飯田市成人式</li> <li>○東京大学大学院牧野研究室との共同調査・学習</li> <li>○飯田ムトス大学事業</li> <li>○JICA草の根技術協力事業「フィリピンプロジェクト」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○飯田市民大学講座 <ul style="list-style-type: none"> <li>ー信南(伊那)自由大学と下伊那の青年たち</li> <li>ー飯田の公民館と地域づくりに学ぶ</li> <li>ーカミとホトケの交渉史 ～魔仏殿積のツメ跡～</li> </ul> </li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○飯田市民大学講座 <ul style="list-style-type: none"> <li>ー伊那谷の秋の虫とアオマツムシの侵入</li> <li>ー伊那谷の地震災害と中央構造線の活断層運動</li> </ul> </li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○北斗のまち・さわやか講座 <ul style="list-style-type: none"> <li>ー飯田弁、人形劇、骨、仏教、大正琴、日本料理</li> </ul> </li> <li>○橋北地区文化祭</li> <li>○工作体験教室・実験教室</li> <li>○しめ飾り講習会・もちつき交流会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○北斗のまち・さわやか講座 <ul style="list-style-type: none"> <li>ー橋北音頭、下栗の里バスハイク、浜井場小学校、提灯</li> </ul> </li> <li>○上飯田の歴史 連続講座</li> <li>○菱田春草 連続講座</li> <li>○3館合同文化講演会(橋北・橋南・東野地区合同)</li> <li>○中心市街地シャレットワークショップ</li> <li>○橋北面白倶楽部(地域人教育関連)</li> <li>○橋北まるごと博物館研究会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○マレットゴルフ教室</li> <li>○健康教室 ウォーキング関連を3回</li> <li>○ワンバウンドふらば～るバレー大会</li> <li>○囲碁ボール体験</li> <li>○囲碁ボール大会</li> <li>○ウリング大会</li> <li>○橋北市民運動会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○北斗のまち・さわやか講座 <ul style="list-style-type: none"> <li>ー飯田下伊那の自然、</li> </ul> </li> <li>○橋北地区文化祭 <ul style="list-style-type: none"> <li>ーおひさま進歩エネルギーと共催で環境学習</li> </ul> </li> <li>○中心市街地におけるエネルギーからのまちづくりについて</li> <li>○ウリング大会</li> <li>○橋北市民運動会</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○おひまち</li> <li>○しめ縄づくり講習会</li> <li>○もちつき</li> <li>○書き初め</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○橋南文化講座(温故創新) <ul style="list-style-type: none"> <li>ー橋南の源氏名と祭り法被ー</li> </ul> </li> <li>○橋南史跡ウォーキング <ul style="list-style-type: none"> <li>ー橋南桜ウォーキングー</li> </ul> </li> <li>○橋南史跡巡り <ul style="list-style-type: none"> <li>ー高速、諏訪高島、諏訪大社を巡るー</li> <li>ー飛鳥と藤原京を巡るー</li> </ul> </li> <li>○「橋南各町源氏名と祭り法被」編集事業</li> <li>○3館合同文化講演会(橋北・橋南・東野地区) <ul style="list-style-type: none"> <li>ー春草を中心とした明治画壇ー</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ウォーキング講座</li> <li>○ふれあい健康講座 <ul style="list-style-type: none"> <li>ーおいしい野菜の選び方・食べ方講座ー</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○橋南環境講座(ラベンダー関連講座) <ul style="list-style-type: none"> <li>ーラベンダースティックを作ろうー</li> <li>ーラベンダー入りプローチを作ろうー</li> <li>ーラベンダーリースを作ろうー</li> </ul> </li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○曙の里講座 お正月の花を生けましょう</li> <li>○曙の里講座 書初め大会</li> <li>○冬の探鳥会(羽場・丸山地区・飯田西中学校)</li> <li>○図書館お楽しみ会</li> <li>○夜の講座</li> <li>○シニア講演会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○子ども体験学習「飯田城下町遺跡と動物園見学」</li> <li>○羽場ふれあいウォーキング</li> <li>○おやすしめ縄づくり</li> <li>○新春お楽しみ会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ワンバウンドふらば～るバレー大会</li> <li>○囲碁ボール大会</li> <li>○ふれあいスポーツ祭</li> <li>○ソフトバレーボール大会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○飯田西中学校春の探鳥会</li> <li>○魚のつかみ取り</li> <li>○田んぼ活動</li> <li>○きのご狩りと芋煮会</li> <li>○曙の里講座 省エネ講座</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○新春書初め教室</li> <li>○そばうち体験講座</li> <li>○観月の夕べ</li> <li>○国宝への旅</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>○春の探鳥会</li> <li>○風越山と暮らしを考える講座</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○五福の会</li> <li>○女性学級「めたかの学校」</li> <li>○若草の里東野講座</li> <li>○しめ縄作り</li> <li>○書初め書道教室</li> <li>○三館合同文化講演会(橋北・橋南・東野)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教養講座「五平餅作り」</li> <li>○東野文化の路探訪会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ウォーキング事業「みんなで歩かまい!東野再発見!!」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○山菜採り勉強会</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○麻績いきいき大学</li> </ul>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>○松尾サイエンス</li> <li>○男踊り教室</li> <li>○地域いきいきセミナー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○水引教室</li> <li>○松尾探検隊</li> </ul>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ひさかた村塾</li> <li>○下久堅地区新年の会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ひさかた和紙講座</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○からだケア教室</li> <li>○ヨガ・ストレッチ教室</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○LEDランプシェードづくり講座</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○お花見ウォーキング</li> <li>○南信州狼煙リレー</li> <li>○上久堅を学ぶ会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○男性料理教室「男子厨房に入る」</li> </ul>	

## 平成25年度 公民館学級・講座実施状況一覧表

公民館名	乳幼児教育支援事業	家庭教育支援事業	多文化共生事業	地域芸術文化振興事業
<b>千代公民館</b> (P86～92 参照)	○乳幼児学級「ちよっ子クラブ」 ○乳幼児教育講座	○子育てパワーアップ講演会 ○親子料理教室		○人形劇フェスタ観劇バスツアー
<b>龍江公民館</b> (P93～100 参照)	○乳幼児学級0～1歳(りす) ○乳幼児学級2～3歳(ぞう&うさぎ)	○家庭教育講座 ー絵本・かみしばいの読み聞かせ教室ー ○食育体験教室 ー季節の野菜づくりー ー大豆・豆腐づくり体験ー ○親子人形劇の会	○人権教育学習 ー平和学習(満蒙開拓平和記念館)ー	○人形劇フェスタ観劇バスツアー ○今田人形浄瑠璃の保存と継承 ○親子文楽ツアー
<b>竜丘公民館</b> (P101～106 参照)	○0歳児学校 ○1歳児学級 ○2歳児学級 ○3歳児学級	○家庭教育講演会 ○親子ふれあいハイキング ○水辺の楽校【再掲】 ○竜丘あいさつ運動 ○青少年クラブ運営	○中国帰国者支援事業「好友会」(日本語教室)	○ふるさとコンサート ○いいだ人形劇フェスタ2013 竜丘地区公演 ○ニューイヤーコンサート ○竜丘地区文化祭
<b>川路公民館</b> (P107～114 参照)	○乳幼児学級「すくすく学級」 ○親子の運動遊び教室「ここここキッズ」	○絵手紙講座	○人権教育講座	16ミリフィルム上映会
<b>三穂公民館</b> (P115～122 参照)	○乳幼児学級「みほなかよし学級」 ○乳幼児のひろば	○家庭教育講座「命の尊さについて～生まれてきてくれてありがとう～」	○高齢者学級「満蒙開拓平和記念館見学バスハイク」 ○文化セミナー「満蒙開拓平和記念館見学」	○ふるさとコンサート
<b>山本公民館</b> (P123～128 参照)	○乳幼児学級(なかよし広場) ○乳幼児学級(ちびっこ広場)	○親子体験教室 ○キッズ山本大作戦音楽フェスタ ○児童センターおやつ作り ○キッズ山本大作戦ウィンターフェスタ25	○Yamamoto International友の会	
<b>伊賀良公民館</b> (P129～133 参照)	○乳幼児学級(0～1歳児学級、ひまわりっ子2～3歳児)	○いがら農園		
<b>鼎公民館</b> (P134～139 参照)	○つくし学級(3歳児親子) ○2歳児サークル ○1歳児サークル ○幼児運動実践講座「ぐんぐんKIDS」	○かなえ子育てネットワーク「すくすくの樹」(子育てのツボツボ講座) ○小学校・保育園・幼稚園との連携による子育て支援事業		
<b>上郷公民館</b> (P140～145 参照)	○乳幼児学級 ○乳幼児学級・育児サークル合同学習会 ○乳幼児運動あそび教室	○子ども(親子)そば打ち教室 ○子ども料理教室		○黒田人形教室
<b>上村公民館</b> (P146～150 参照)	○乳幼児学級「ひよこちゃん」	○小学校PTA共催講演会		○かみむら総合文化祭・健康まつり
<b>南信濃公民館</b> (P151～157参照)	○乳幼児学級「すこやか学級」	○家庭教育講座		○人形劇団育成事業

# 平成25年度 公民館学級・講座実施状況一覧表

学習交流推進事業	郷土学習支援事業	健康学習推進事業	環境学習支援事業
<ul style="list-style-type: none"> <li>○高齢者学級</li> <li>○新春書き初め教室</li> <li>○男性の料理教室</li> <li>○婦人学級</li> <li>○読み聞かせグループ「どんぐりの会」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○歴史を語る会</li> </ul>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>○そば打ち体験</li> <li>○陶芸教室</li> <li>○ストレッチ体操教室(のびのび元気体操)</li> <li>○シェイプアップ体操(しなやかシェイプアップ体操)</li> <li>○図書館春のお楽しみ会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○郷土を学ぶ学習会                             <ul style="list-style-type: none"> <li>ー紙間屋騒動ー</li> </ul> </li> <li>○ムトス支援事業                             <ul style="list-style-type: none"> <li>ー龍江中学校校歌ー</li> <li>ー龍江かるた冊子ー</li> </ul> </li> <li>○ふるさと再発見講座</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の身体の事を知ろう</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○大人の学校</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○竜丘市民大学講座</li> <li>○ふるさと学習会</li> <li>○竜丘自由画保存顕彰委員会</li> <li>○竜丘古墳の会</li> <li>○民俗資料保存事業</li> <li>○古墳まつり</li> <li>○新・丘のみちしるべ編集委員会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○夏季スポーツ大会</li> <li>○冬季スポーツフェスティバル</li> <li>○竜丘市民運動会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○水辺の楽校</li> <li>○親子ふれあいハイキング【再掲】</li> <li>○塚原二子塚 古墳公園白井川 秘境遊歩道整備委員会</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○第61回天龍峡夏期大学 (飯田市公民館主催・文化事業再掲)</li> <li>○第25回川路の明日を考える研究集会</li> <li>○冬期講座</li> <li>○カルタ大会</li> <li>○凧作り教室</li> <li>○小学生・中学生のための食育講座と走り方講習会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○歴史文化セミナー</li> <li>○世代間交流事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○遠足倶楽部</li> <li>○さわやか健康教室</li> <li>○健康講演会</li> <li>○ウォーキング講座</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学友林学習事業</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○高齢者学級(世代間交流分野)</li> <li>○真陽地区との交流事業</li> <li>○ほっとけない楽習会「遠山郷バスの旅」、「防災ゲーム クロスロードをやってみよう」</li> <li>○防災セミナー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○高齢者学級「農業の歴史から農村の暮らしを学ぶ」</li> <li>○ふるさとめぐり三徳</li> <li>○伊豆木人形の継承</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ほっとけない楽習会「地域で見守り みんなで介護」</li> <li>○高齢者学級「座ってできる脳トレ体操」</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○高齢者学級</li> <li>○男の料理教室</li> <li>○お話を聞く会</li> <li>○飾り巻き寿司講座</li> <li>○あさま山荘事件を語る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○山本学講座</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○出張健康講座</li> <li>○ウォーキング講座・ノルディックウォーク講座</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○かさまつ大学</li> <li>○お楽しみ会(図書館との合同事業)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○伊賀良を学ぼう ～歴史・文化・自然～</li> <li>○伊賀良を学ぼう ～食～</li> <li>○伊賀良を学ぼう ～食～ 横山タカ子先生に学ぶ料理教室</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○男性の料理教室</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○華甲大学(高齢者学級)</li> <li>○食育講座「もぐもぐ隊」</li> <li>○かなえっこ どきどきスクール</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○華甲大学(高齢者学級)</li> <li>○古文書講座</li> <li>○「地育力向上講座「ずんずんずへん隊」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○華甲大学(高齢者学級)</li> <li>○料理教室</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○高齢者学級</li> <li>○地域づくりフォーラム</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○上郷地域の成り立ちを知る連続講演</li> </ul>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>○世代間交流事業</li> <li>○かみっこ食育交流事業</li> <li>○人形劇フェスタ観劇バスツアー</li> <li>○漢字能力検定</li> <li>○かみっこお楽しみ会</li> <li>○「若い衆で地域を語らまいか」意見交換会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○小学生霜月祭横笛教室</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ニュースポーツ講習会</li> <li>○冬季スポーツ大会</li> <li>○上村ウォーキング講座</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○野鳥観察会</li> <li>○星空観察会</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○女性学級</li> <li>○高齢者学級「いこいの広場」</li> <li>○図書分館との合同事業</li> <li>○平和学習事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○夏休み子ども講座</li> <li>○おいしいお茶づくり講座</li> <li>○遠山森林塾</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ブッポウソウの保護活動</li> </ul>

平成25年度 専門委員会等事業一覧表

公民館名	専門委員会事業			その他
	文化事業	体育事業	広報事業	
橋北公民館 (P31～35 参照)	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化研修旅行</li> <li>いっぴだ人形劇フェスタ2013</li> <li>橋北地区文化祭</li> <li>第21回 橋北歌うたべ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワンバウンドふらば～るバレー大会</li> <li>囲碁ボール体験</li> <li>囲碁ボール大会</li> <li>健康教室</li> <li>第36回 橋北市民運動会</li> <li>橋北地区ボウリング大会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>館報橋北 発行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>橋北・橋南・東野地区成人式</li> <li>ふるさとコンサート (橋北・橋南・東野3館合同)</li> <li>三館合同文化講演会(橋北、橋南、東野合同)</li> </ul>
橋南公民館 (P36～43 参照)	<ul style="list-style-type: none"> <li>飯田人形劇フェスタ 橋南地区公演</li> <li>第7回橋南芸能発表会</li> <li>第18回橋南文化祭</li> <li>橋南史跡めぐり(夏・冬)</li> <li>「橋南各町の源氏名と祭り法被」編集事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第28回橋南ウオーキング大会</li> <li>橋南ソフトボール大会</li> <li>ワンバウンドふらば～るバレー講習会</li> <li>囲碁ボール講習会</li> <li>囲碁ボール大会</li> <li>第26回橋南連合大運動会</li> <li>橋南女性バレーボール大会</li> <li>橋南ソフトバレーボール大会</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>しめ縄づくり講習会</li> <li>おひまち</li> <li>もちつき大会</li> <li>土に親しむ活動 大豆を育てよう</li> <li>第10回橋南夏まつり</li> <li>伝統文化教室「天龍太鼓子ども教室」「松一獅子舞教室」</li> <li>追手町小学校放課後子ども教室</li> <li>夏休み子ども教室</li> <li>橋北・橋南・東野地区 成人式</li> <li>ふるさとコンサート(橋北・橋南・東野地区)</li> </ul>
羽場公民館 (P44～49 参照)	<ul style="list-style-type: none"> <li>羽場ふれあいウォーキング</li> <li>いっぴだ人形劇フェスタ2013羽場地区公演</li> <li>ふれあいコンサート(羽場・丸山地区)</li> <li>羽場地区文化祭</li> <li>夜の講座</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>囲碁ボール大会</li> <li>ワンバウンドふらば～るバレー大会</li> <li>ふれあいスポーツ祭</li> <li>ソフトバレーボール大会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>広報あけぼの 発行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>羽場・丸山地区成人式</li> <li>飯田西中学校春の探鳥会</li> <li>冬の探鳥会</li> <li>図書館お楽しみ会</li> <li>家庭教育講演会</li> </ul>
丸山公民館 (P50～55 参照)	<ul style="list-style-type: none"> <li>人形劇フェスタ2014丸山地区公演</li> <li>ふれあいコンサート</li> <li>丸山地区文化祭</li> <li>冬の探鳥会</li> <li>大人のサロン</li> <li>風越山と暮らしを考える講座</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>町内対抗ソフトボール大会</li> <li>ワンバウンドふらば～るバレー大会</li> <li>丸山地区市民大運動会</li> <li>囲碁ボール大会</li> <li>健康講座</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>広報まるやまの編集</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>羽場・丸山地区成人式</li> <li>丸山小学校かざこしタイム</li> <li>風越山を愛する会</li> <li>丸山小学校放課後子ども教室(青空スクール)</li> </ul>
東野公民館 (P56～61 参照)	<ul style="list-style-type: none"> <li>山菜取り勉強会</li> <li>五平餅作り体験</li> <li>いっぴだ人形劇フェスタ2013東野地区公演</li> <li>東野文化の路探訪会</li> <li>第41回東野区民文化祭</li> <li>しめ縄作り</li> <li>お正月行事</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般男子ソフトボール大会(春季・秋季)</li> <li>親と子のスポーツ交流会</li> <li>ラージソフトボール大会</li> <li>ファミリーバレーボール大会</li> <li>ワンバウンドふらば～るバレーボール大会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>まちづくり会報の発行(第25～28号)</li> <li>ピデオ収録、編集</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ウォーキング事業「みんなまで歩かまい」東野再発見!</li> <li>橋北・橋南・東野地区成人式</li> <li>ふるさとコンサート(橋北、橋南、東野合同)</li> <li>三館合同文化講演会(橋北、橋南、東野合同)</li> </ul>

平成25年度 専門委員会等事業一覧表

公民館名	専門委員会事業			その他
	文化事業	体育事業	広報事業	
<b>座光寺公民館</b> (P62～68 参照)	・座光寺人形劇まつり ・座光寺地域文化祭 ・麻績の里種まき大賞 ・座光寺地域成人式 ・大人のテイスティンク ・歴史ふれあい健康ウォーキング	・春季スポーツ大会 ・高陵地区体力測定会 ・夜間バタクリーグ ・座光寺盆野球大会 ・座光寺地域市民運動会 ・地区スポーツ月間 ・冬季ソフトボール大会	・広報座光寺発行 ・広報座光寺お知らせ版発行	・地域づくりフォーラム ・ふるさと再発見講座 ・歴史現地学習会
<b>松尾公民館</b> (P69～73 参照)	・飯田人形劇フェスタ2013 ・第11回松尾踊ってみよう会 ・年賀状展 ・松尾地区文化祭 ・松尾地区成人式	・松尾地区市民運動会 ・ニュースポーツ講習会 ・分館対抗ニュースポーツ大会 ・分館対抗マレットゴルフ大会 ・松尾キンボール講習会 ・体力テストと痛みを和らげるストレッチ講習会	・「まつお新聞」の発行	・3地区合同バレーボール大会 ・柳澤運動プログラム実践教室 ・松尾地区還暦の会
<b>下久堅公民館</b> (P74～79 参照)	・ふるさとコンサート ・いっただい人形劇フェスタ2013 ・下久堅地区文化祭	・分館対抗ソフトボール大会 ・レディインズバレーボール大会 ・常会対抗盆野球大会 ・下久堅地区市民運動会 ・冬季スポーツ大会	・「ひさかた」の発行	・公民館フェスティバル ・下久堅地区成人式 ・下久堅放課後子ども教室
<b>上久堅公民館</b> (P80～85 参照)	・十三の郷ふれあいコンサート ・人形劇フェスタ2013上久堅地区公演 ・上久堅地区文化祭	・AFD講習会 ・分館対抗女性スポーツ大会 ・分館対抗ソフトボール大会 ・上久堅地区運動会 ・冬季スポーツ大会	・館報「かみひさかた」発行 ・館報編集学習会 ・第4回上久堅写真展 ・館報発送サービス事業	・分館自主活動 ・世代交流しめ縄飾り講習会 ・第21回ひさかたの火まつり ・第20回小川路峠へ登ってみよう ・上久堅地区成人式
<b>千代公民館</b> (P86～92 参照)	・ふるさと講演会 ・万古溪谷桂の木ツアー ・いっただい人形劇フェスタ2013千代地区公演 ・千代地区文化祭 ・千代峠交流会	・第24回スーパーマレットゴルフ大会 ・第13回スーパードイール大会 ・千代地区市民運動会 ・第4回アソビバレー大会 ・ニュースポーツ講習会 ・ニュースポーツフェスティバルへの参加	・館報千代の発行 ・ふるさとの便り発送事業	・千代地区成人式 ・千代地区ソフトバレーボール交流会 ・スポーツ講演会
<b>龍江公民館</b> (P93～100 参照)	・いっただい人形劇フェスタ2013龍江地区公演 ・龍江地区文化祭、芸能祭 ・ふるさと探訪	・地区市民運動会 ・さくらまつりバタクリ大会 ・龍江一周駅伝の集い ・アロマヨカ教室 ・ニュースポーツフェスティバル	・龍江新聞の発行(毎月) ・龍江新聞地区外発送 ・龍江ホームページ運営	・龍江地区育成連絡協議会 ・龍江ふるさと探検 ・百人一首大会、龍江かるた会 ・水辺の楽校魚釣り、角つかみ大会 ・龍江少年少女クラブ合同発会式及び納め会

平成25年度 専門委員会等事業一覧表

公民館名	専門委員会事業			育成事業	その他
	文化事業	体育事業	広報事業		
<b>竜丘公民館</b> (P101～106 参照)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ふるさとコンサート</li> <li>いっただい人形劇フェスタ2013竜丘地区公演</li> <li>ニューイヤークンサート</li> <li>竜丘地区文化祭</li> <li>竜丘市民大講座</li> <li>ふるさと学習会</li> <li>親子ふれあいハイキング</li> <li>成人式</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>夏季スポーツ大会</li> <li>冬季スポーツフェスティバル</li> <li>竜丘市民運動会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>館報「つたお」発行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>水辺の楽校</li> <li>竜丘あいさつ運動</li> <li>青少年クラブ運営</li> <li>古墳まつり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>民俗資料保存事業</li> <li>塚原二子塚古墳公園白井川秘境遊歩道整備委員会</li> <li>放課後子ども教室</li> <li>新・丘のみちしるべ編集委員会</li> <li>竜丘古墳の会</li> <li>竜丘自由画保存顕彰委員会</li> </ul>
<b>川路公民館</b> (P107～114 参照)	<ul style="list-style-type: none"> <li>いっただい人形劇フェスタ2013川路地区公演</li> <li>第61回天龍峡夏期大学(飯田市公民館主催)学習交流推進事業再掲</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>分館対抗ソフトボール大会</li> <li>ワンバウンドふらばーるバレー大会</li> <li>川路地区大運動会</li> <li>分館対抗バレーボール大会</li> <li>ソフトバレーボール大会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>館報「かわじ」発行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>川路地区成人式</li> </ul>	
<b>三穂公民館</b> (P115～122 参照)	<ul style="list-style-type: none"> <li>真陽地区との交流事業IN真陽</li> <li>ふるさとコンサート</li> <li>人形劇フェスタ三穂地区公演</li> <li>三穂ふれあい夏祭り</li> <li>ふるさとめぐり三穂</li> <li>真陽地区との交流事業IN三穂</li> <li>三穂文化祭</li> <li>やまびこマーチチエックポイント運営</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワンバウンドふらばーるバレー大会</li> <li>マレットゴルフ大会</li> <li>お盆ソフトボール大会</li> <li>三穂地区市民運動会</li> <li>冬季ニューズスポーツ大会</li> <li>ニューズスポーツ講習会</li> <li>ニューズスポーツ月間</li> <li>地区内スポーツ団体との交流</li> <li>ニューズスポーツフェスティバルへの参加</li> <li>体育施設整備作業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>館報「みほ」の発行(年6回)</li> <li>新春放談会</li> <li>三穂ホームページ・ブログの更新</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>女性委員会</li> <li>ほっとけない楽習会</li> <li>女性委員研修会 料理講習会</li> <li>女性交流スポーツ大会(ソフトバレーボール)</li> <li>公民館各種事業への参画</li> <li>その他</li> <li>伊豆木人形の継承</li> <li>人形劇フェスタ 感激☆バスツアー</li> <li>三穂地区成人式</li> <li>救急救命講習会</li> <li>公民館委員研修視察旅行</li> </ul>	
<b>山本公民館</b> (P123～128 参照)	<ul style="list-style-type: none"> <li>いっただい人形劇フェスタ2013山本地区公演</li> <li>山本地区文化祭</li> <li>国際ふれあい交流会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>分館対抗スポーツ大会</li> <li>山本地区市民大運動会</li> <li>軽スポーツ大会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>館報「いっただい」発行</li> <li>米寿記念写真撮影、贈呈</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>山本夏祭り</li> <li>武田信玄狼煙リレー</li> <li>山本地区成人式</li> <li>杵原広場整備作業</li> <li>杵原学校フォトコンテスト</li> </ul>	
<b>伊賀良公民館</b> (P129～133 参照)	<ul style="list-style-type: none"> <li>人形劇フェスタ2013 伊賀良地区公演</li> <li>伊賀良地区文化祭</li> <li>ふるさとゲームウォーキング～中村の巻～</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>伊賀良地区交流ベタング大会</li> <li>分館対抗夏季スポーツ大会</li> <li>伊賀良地区運動会</li> <li>分館対抗冬季スポーツ大会</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>伊賀良地区成人式</li> <li>学校開放運営委員会議、調整会議</li> <li>展示コーナー運営委員会</li> <li>伊賀良小学校クラブ活動支援</li> </ul>	

平成25年度 専門委員会等事業一覧表

公民館名	専門委員会事業			育成事業	その他
	文化事業	体育事業	広報事業		
<b>鼎公民館</b> (P134～139 参照)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ふるさと再発見ワンデーマーチ</li> <li>いっただい人形劇フェスタ2013</li> <li>ふるさと県ふれあい広場・文化祭</li> <li>鼎地区成人式</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ニュースポーツ講習会</li> <li>鼎地区体育祭(ペタンク大会)</li> <li>鼎地区縦断駅伝大会</li> <li>鼎地区女性バレーボール大会</li> <li>鼎公民館長杯冬季スポーツ大会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公民館報かなえの発行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公民館役員研修視察</li> <li>小学校・保育園・幼稚園との連携による子育て支援事業</li> <li>婦人団体連絡協議会の活動支援</li> </ul>	
<b>上郷公民館</b> (P140～145参照)	<ul style="list-style-type: none"> <li>クラブ育成事業</li> <li>上郷地区文化祭・ふれあい音楽祭</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>体力測定会</li> <li>囲碁ボール大会</li> <li>夏季体育大会(地区ペタンク大会)</li> <li>上郷地区大運動会</li> <li>冬季体育大会(ワンバウンドふらば〜るバレー大会)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「広報かみさと」発刊事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>あいさつ運動(立ち番)</li> <li>子ども体験教室</li> <li>野底山森林公園もみじ祭り(ストラックアウトに挑戦)</li> </ul>	
<b>上村公民館</b> (P146～150参照)	<ul style="list-style-type: none"> <li>野鳥観察会</li> <li>人形劇フェスタ2013 上村地区公演</li> <li>星空観察会</li> <li>かみむら総合文化祭・健康まつり</li> <li>上村地区成人式</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ニュースポーツ講習会</li> <li>冬季スポーツ大会</li> <li>マレットゴルフ大会</li> <li>かみむら大運動会</li> <li>第20回小学生、公民館卓球大会(南信濃公民館合同)</li> <li>上村ウォーキング講座</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>館報「かみむら」発行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>いっただい人形劇フェスタ2013上郷地区公演</li> <li>本館役員研修会</li> <li>上郷歩こう会</li> <li>野底山森林公園まつり(野底ウォーク)</li> <li>南信州のろしりレー</li> <li>ふるさと学習副教材製作事業</li> <li>上郷地区成人式</li> <li>飯田ムトス大学事業</li> </ul>	
<b>南信濃公民館</b> (P151～157参照)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ふるさとコンサートim遠山郷</li> <li>夏休み子供映画の夕べ</li> <li>いっただい人形劇フェスタ2013</li> <li>第3回かみむら寄席</li> <li>星空観察会</li> <li>南信濃地区成人式</li> <li>生活改善 盆の取り決め</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>南信濃地区市民運動会</li> <li>第60回南信濃地区野球大会</li> <li>第34回南信濃地区ソフトボール大会</li> <li>公民館卓球大会(上村公民館合同)</li> <li>南信濃剣道大会</li> <li>南信濃公民館マレットゴルフ大会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公民館報「やまなみ」の発行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康祭り</li> <li>飯田ムトス大学事業</li> <li>第16回南信濃芸術祭</li> </ul>	
<b>Aブロック公民館</b> (P158 参照)		<ul style="list-style-type: none"> <li>旧市5地区野球大会</li> <li>Aブロックシニア・レディースソフトボール大会</li> <li>Aブロック女性バレーボール大会</li> <li>旧市5地区少年野球大会</li> <li>丘の上5地区囲碁ボール大会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Aブロック広報・館報研修会</li> </ul>		
<b>Bブロック公民館</b> (P159 参照)					
<b>Cブロック公民館</b> (P159 参照)				<ul style="list-style-type: none"> <li>Cブロック情報交換会</li> </ul>	
<b>Dブロック公民館</b> (P160 参照)		<ul style="list-style-type: none"> <li>ママさんソフトボール大会</li> <li>バドミントン大会</li> <li>交流スポーツ大会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>館報研修会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学生交流会</li> </ul>	

## 「自治体職員に求められる力量とは」

—社会教育的地域計画論から—

### (1) はじめに

#### 1、地域の未来をどのように計画するか。

#### 2、飯田市の公民館事業「市民セミナー」からつかみ取ったもの。

飯田市では旧村ごとに 17 (昭和 50 年当時) の独立した公民館を設置、その活動の柱が市民セミナーであった。その理念は「生活の場を拠点に、暮らしや地域の課題を掘り起し、その解決に向けて、住民相互が学習を深め合う」

これを基に①市民の権利意識の醸成、「自分たちの地域を自分たちの手で!」まちづくりのためのセミナー②市民の自発的発想を生かしたまちづくりにつながるセミナー③地域問題を積極的に学習し、住民一人ひとりが“飯田を考える”セミナーを目指していた。

それは昭和 50 年に中央自動車道が飯田まで開通するとともに、この地域に吹き荒れた「開発」に対する住民の暮らし、一方では気候と市場価格に振り回される農業などの状況に対して、何とか展望を見い出そうという市民の課題意識が反映されていた。

でも、このような住民自身による足元の切実な課題を掘り起こすことから始まった社会教育活動は福祉・教育・水環境・農業など地域課題に関わればかかわるほど、他の部署の仕事に踏み込むことになる。市役所内部の職務分掌でいえば高齢者は福祉課、水道施設は水道課、農業振興でいえば農政課が担当となる。公民館活動が文化・スポーツ活動の枠内で収まっているうちはよいが、他の部署の領分にまで踏み込み、あまつさえ行政批判の火種さえ蒔きかねないテーマを取り上げることには抵抗があった。

当時、行政の課題を公民館が取り上げることはタブー視されていた。それを冒してまで、この問題へ踏み込んだのは何であったのだろうか…。それは縦割り行政から地域割り行政への転換であり、住民を管理し恩恵を施す公務員から、住民自身が課題に気づき解決してゆくための行政マンへの私たち自身の転換であった。

市民セミナーの共通テーマ「飯田を考える」には簡素な言葉の中にそのような意味が込められていた。

当時はまだ「本庁中心主義」の思想が濃厚に残っている中であった。しかし出先の現場へ根を広げて住民と対話を重ね、課題を解決する技術を手にした職員は、やがて本庁へ戻ると企画、農政、都市計画など創造的な職場に戻ることが多かった。言葉より実務に裏付けられた職員集団が広がってきた。

当時、市長がよく口にしていた「全職員が公民館主事であれ」の一言は、結果として住民自身が「自ら考え実践する」。市役所は下支えをする地域の礎へと向かうこととなった。



### 3、具体的な事業の展開。(キーワードは地域を構造的にみる)

- ①農業構造改善担当者としての未熟さ。(農林水産省へのこだわり)
- ②中心市街地再生への基本(都市の本質は多様性、デベやゼネコンは使わない)
- ③企業誘致、農業振興、コモンズ概念の拡大など
- ④高野町の副町長(高野山文化圏、コモンズ、車への対応、山村の再生)

## (2)「地域づくり」とその計画

### 1、考えの基盤(あらゆる取り組みの考え方の基本)

- ①誰がつくるか=地域をつくるのは、そこに住んでいる住民。
- ②地域づくりとは=よりよい状態で生きたいという想い=その条件をつくろうと思っ  
て取り組もうとする「住民づくり」である。(儲かることではない)
- ③そのことは、住民と行政の主體的で一体化された「協働」によって可能。
- ④地域の活性化とは、その取り組みの活性化である。
- ⑤「地域づくり」の計画は以上の事を基盤に据えて考えたい。

### 2、具体化への方向

- ①市町村が行うことは、上からの指示をするのではない。基礎自治体として決めたこ  
とを住民に伝える姿勢ではなく、住民の要求に耳を傾け、住民が主體的に取り組も  
うとして、取り組むことを積極的に支援し、一体となって実践する。そこに「協働」  
がある。

- ②「受け手」の公務員になろう。

普通、公務員は「送り手」である。「前例」を右手に、「法律」を左手に持って住民  
と対話をしようとする。(これを「20世紀型公務員という)

私たちの格言に「過去の延長線上に未来は無い」と言われる。一方、法律は出来た  
時が一番新しくフレッシュである。かつ日本を一律に一本の法律で律する時代は終  
わっている。

現場の生の声を聞いて、その中身に普遍性があり自らの地域のエゴで無いものであ  
れば、法や運用の改正に取り組むのが公務員の醍醐味ではないだろうか。地方分権  
一括法が施行されて10年余、なぜ中央集権は強化され、国が交付税の配分にまで査  
定をしても文句のいえる市町村はなぜ生まれてこないのであろうか。

### 3、地域をつくること具体化。

- ①地域の実態を明らかにして課題に据える
- ②その課題の解決・実現のため目標を据え
- ③その実現の方法を考えて取り組む
- ④以上の過程を具体的に重視して進める
- ⑤住民と共に、その取り組みが主體的に進められるように支援する。
- ⑥そのためにも職員一人ひとり「白紙で物事に取り組むべき」である。「専門家であ  
るとの意識」は大切であるが、事なかれ主義にはまりやすい。

⑦地域の実態把握は＊客観的に捉える実態＊住民の意識・意欲や実践力の実態＊この二つを両側面からの把握が必要。(客観的分析にもとづく実態把握のみでの目標設定では、行政の一方通行となり、住民への送り付けとなる恐れが大きい)

### (3) 冒頭の講義2のまとめ

#### 1、戦後のまちづくり。

「個人が個人のベスト」を行った総体。

#### 2、「自治の気風」

公務員の仕事を続ける中で「住民同士の相互啓発を促す」ことは、そうたやすいことではない。「高み」から指導する方がどんなに楽であろうか。

公民館と同じ問いに直面していたのが保健士であった。飯田市では保健士も公民館と同じように地区(旧村)ごとに配置されていた。そもそも保健活動は病の予防が目的であるから、治療と違って結果が見えにくい。何人訪問したかは数字で出せても、その結果何人の予防が出来ていたかはつかめない。いきおい近年特に顕著になった健康診断の受診率を上げたり、全戸へ個々に保健士が訪問するなど数量的な目標だけが求められている。

このことに対して自分たちの仕事の本質は何かを問う保健士は疑問を持ち始めた。「〇〇〇が大切です」などと一方的に話すことから、健康教育は聞くだけでは勉強にならない、頭で分かっても「行動の変化にならない」というむなしさであった。その事に助言を与えたのが久常節子さん(前社団法人日本看護協会会長)の助言であった。

久常さんが保健士の持っている悩みから導いた方向性は「健康問題を住民の意識の側面からとらえる視点」であった。血糖値一つをとっても一人ひとりでは受け止め方が異なる、この一人ひとりの意識をとらえ、そこに働きかけないかぎり住民の行動を変えることは出来ない。保健士が「教える」というのは駄目であり、こちらに問題意識があっても、住民にないと行動にならない事であった。

公民館活動も保健士の健康づくりも互いに基礎知識を持つ必要がある。でも、もうひとつ大切なことは住民との関係の仕方の技術を持つことであり、住民自身の意志に基づいた地域社会づくりである。

実はこの「住民自身の意志に基づいた地域社会づくり」が継続して取り組まれている地域は皆無に等しい。住民と直接話をした経験が無い、担当者が変わる、面倒くさい、時間がかかる。どれも良くみられることである。

繰り返しになるが「住民に学ぶ気持ち」を基本に真っ白な心で現場へ出て住民から学んでみませんか？

パソコンからは暖かさと生活感を積み重ねた市民の真の声は出てきません。

## 講義4 「住民・行政・公民館の関係を考える」

### I 飯田市における行政と地域自治の仕組みと、その特徴

#### 1 飯田市の行政は、分散型地方行政といえる

- ① それは、1市2町13ヶ村が合併し、10万3千人、3万8千世帯のまち
- ② 20の自治区に自治振興センターと、20の独立公民館を配置している。
- ③ 地方自治法第1条目的には、“民主的にして、かつ、能率的”な自治の確保に努めるとある。この二律背反的課題をどのように克服するかが課題である。
- ④ 民主的には、施設や機能を分散る、能率的には、施策を集中すればと考える。
- ⑤ 教育基本法 第10条教育と教育行政には、「教育は、不当な支配に屈服することなく、国民全体に対し直接責任を負って行われなければならない。

※ 孫子曰く 凡そ衆を治むること、寡を治むる如きは、分數是なり  
衆を闘わすこと、寡を闘わすが如きは、形名、是なり、という

### II 地域自治に求められるもの

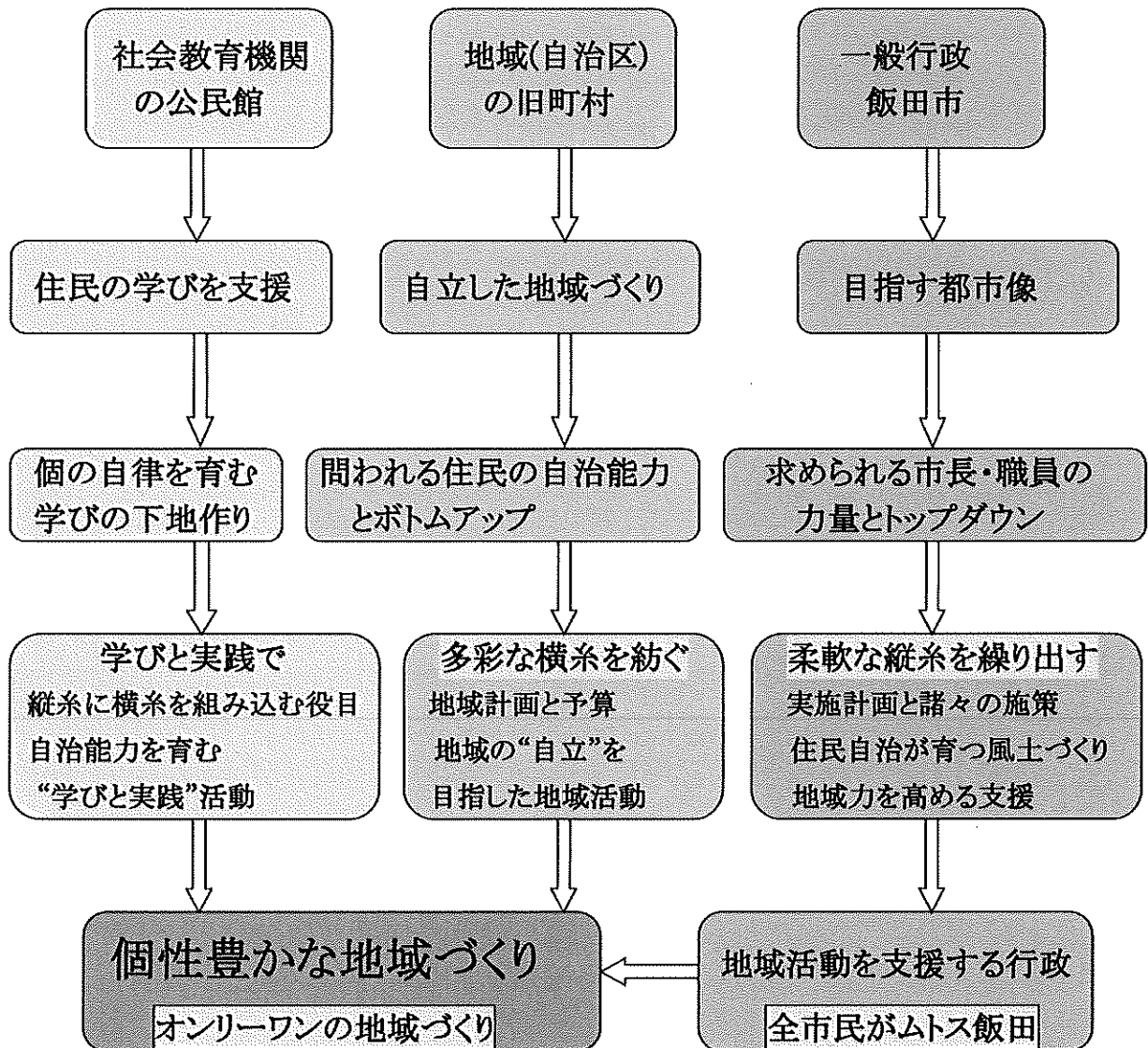
- ① 行政は、首長・職員の資質と、リーダーシップによるトップダウンの施策
- ② 行政は縦系で、柔軟な縦系を繰り出すのが役目である
- ③ 住民(自治区)は、生活に根ざした実践で自治能力を高め、要求をボトムアップする
- ④ 住民(自治区)は横系で、多彩な横系を紡ぎ出すのが役目である
- ⑤ 公民館は、社会教育機関の“学びの場”で、まちづくりの下地をつくる。
- ⑥ 公民館は、多彩な横系を紡ぎ出す住民の、自治能力を育むのが役目である
- ⑦ この繰り出された柔軟な縦系に、紡ぎだされた多彩な横系で、まちづくりが出来る
- ⑧ このようにして飯田市は、20通りのオンリーワンの個性ある自治区がつくられる。
- ⑨ 住民一人ひとりが“ムトス飯田”を合言葉に、まちづくりに勤しむ
- ⑩ 住民、行政、公民館の三位一体のまちづくりが、その特長だ。

### Ⅲ 地域で紡いできた横糸の事例

- ① 鎮守の杜構想…十三の郷づくり
- ② 行動計画の策定
- ③ 実践グループの創設
- ④ 有害鳥獣防護対策
- ⑤ 高齢者向け弁当の配食事業
- ⑥ 農業集落排水事業
- ⑦ ゴミの分別収集物の置き場設置
- ⑧ 北田遺跡の文化財保護活動
- ⑨ 鎮守の杜寺子屋
- ⑩ 子育て支援活動
- ⑪ 上久堅を学ぶ会

ひさかた風土舎 長谷部三弘

## 行政と地域(自治区)と公民館の役割



## 行政と地域(自治区)と公民館の特性と違い

- ・行政には、人(職員)、物(施設)、金(予算)、権限(法)がある。  
→ 税金徴収(応能の負担)
- ・地域には、人(住民)、物(共有財産)、金(予算)、当事者能力がない。  
→ 税外徴収(応益の負担)
- ・公民館は、人、物、施設、学びの下地を作る教育機能がある

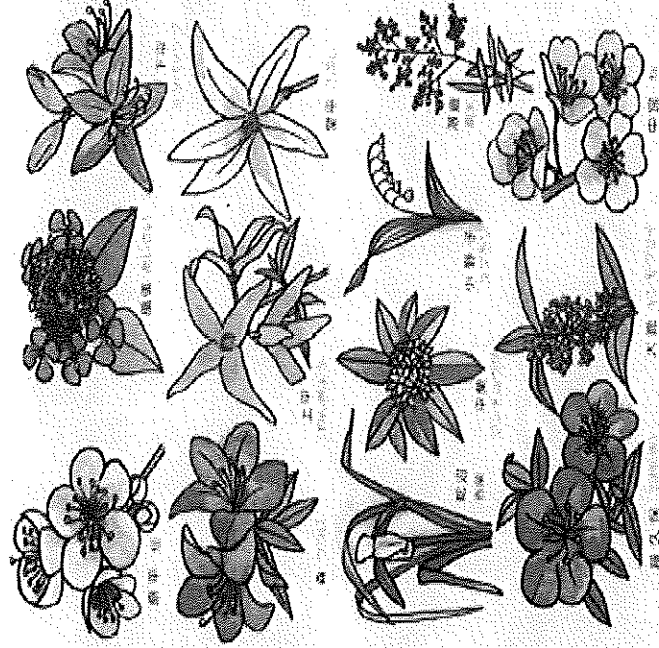
別紙資料

IV 重層的な地域づくりの実践事例

1 旧村規模[上久堅]で…鎮守の杜構想…十三の郷づくり

# 鎮守の杜構想

— 十三の郷づくり —



飯田市上久堅地域づくり策定委員会

## 地域づくり構想の策定の概要

・昭和39年(1964)飯田市に吸収合併されて36年

ようやく“やってこれたもの”“やってくれるもの”

の、思い込みから脱却して・地域づくりのための「地域の

自立・個の自律」に目覚め、地区の自治会は平成2年(19

90)に鎮守の杜構想を策定した。

構想のねらいは、地区内にある13の集落自治が自立し、

地域の諸課題に取り組みの出来る指針を策定した。

そして、構想が「絵に描いた餅」にならないように三つ

の宿題を提示した。

### 三つの約束ごと

- ① 各集落のシンボル花木を選定すること
- ② 各集落の行動計画立てること
- ③ 各集落で実践グループを創設すること

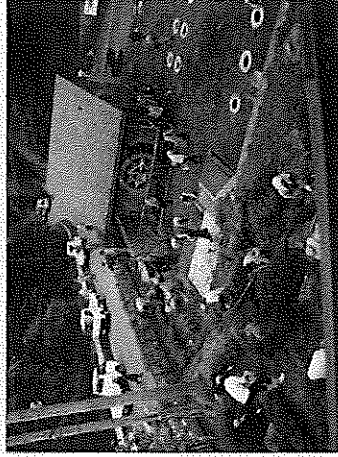
# 1 鎮守の杜構想…十三の郷づくり

## 行動計画の策定

(1990年3月策定)

集落(郷)	計画の概要
原平	生産基盤(畑地)の整備、快適な生活環境の整備(下水道の敷設)、健康と体力づくりの施設の整備、地域連帯感の醸成など
中宮	蛇洞秋葉大権現を中心とした公園の整備 区内の遺跡めぐりのできる遊歩道づくり
下平	区民の行政参加への意識の高揚をはかる、区内及び神之峰公園の美化と整備を図る、区民のコミュニケーションの場としての集会所建設と利用促進を図る
大鹿	簡易水道及び、児童公園の整備、農業の基盤整備、ホタルの郷づくりによる仲間づくり
上平	松だけ山の整備、同試験地の造成、きのこの特産品化、生産基盤(水田・畑地)整備で省力農業、年中行事・お祭りなどにより連帯感づくり
風張	区民のふれあい運動(集落センターを中心に話し合い活動の実践)、小学校を基点に健康の道コース設定、快適な生活環境の為に下水道の設置
堂平	りんごの木オナーナーとの交流、子供の遊び場づくり、堂平の郷の文化・史跡などの調査・保存
越久保	集会所の改築と設備を充実させる、社口線を道路改良する、富士神社の裏山を削って、農地造成と区民憩いの公園をつくる
森	集落センターの建設、区内道路の改良、 つつじの花咲郷づくり
小野子	卯月山の総合整備、ミニ民俗資料館の充実、大昭館の多目的活用、 御柱祭りの定着化
落倉	道路改良、区有林の活用、気楽に話しあえる集落づくり
平栗	平栗峠の公園づくり、市道卯月線の整備
蛇沼	上・下水道の整備、活力ある集落づくり、ホタルの郷、区の花(春蘭)の栽培に全世帯取組む、区内道路の整備

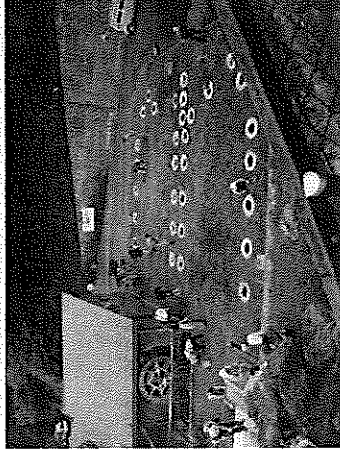
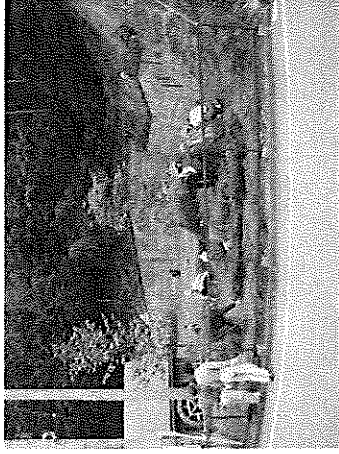
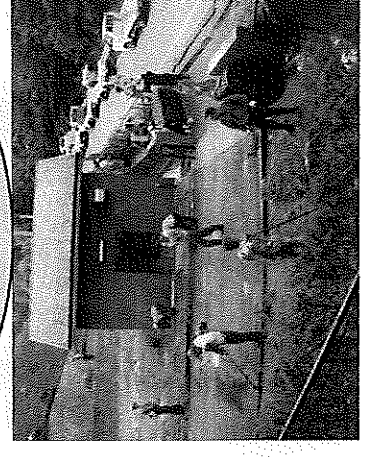
## みずはの苑の管抄



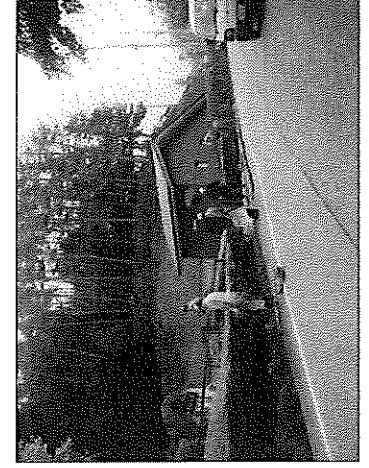
原組 6・00…その跡地を再生する

各集落の分担エリア(11年交代)

- 上段アエス…原上1・2組
- 栗山周辺…原上3・4組
- 管理棟周辺…原下1・2組
- 浄化槽芝生…原上・原下5組



隣組合別にエリアを決めて管理する



別添資料

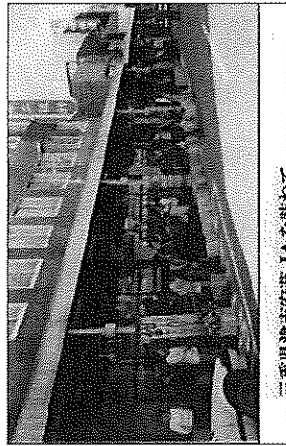
【鎮守の杜構想】 十三の郷(集落)の実践グループ一覧表 2 実践集団の創設

NO	集落名	グループ名	活動の概要
1	原平	柏原農業を考える会 特産品開発研究会	「まち」と「むら」の交流・野菜の産直事業(5月から10月まで)；野蒜、松ぶさ、山葡萄など
2	中宮	中宮を考える会	区内のマッピング作りから始め、活性化に取り組む
3	下平	ジタジタ会 緩坂の会	神の峠城址公園整備と有効活用 郷土料理研究会 「秋葉御膳」弁当など
4	大鹿	めだかの分校(池)の設置と増殖事業 ホタルの養殖(玉川など)事業、ホタルまつり 鹿の会	
5	上平	のらくろ会	藤天商の認可を得て、各種イベントへ出店 名物「お焼き」など(露天商のライセンス取得)
6	風張	アジサイの会 細田川を守る会	アジサイまつりの開催 アマコの放流と保護活動の推進
7	笹平	でごいち会	メダカの泳ぐ池・環境づくりと調査 りんごの木のおナーナー制と交流活動
8	越久保	こいっほ農工舎	農山物品の加工と販売(ゆうパック) 梅肉エキス、キャララふき、五色餅など
9	森	どうする会	減反水田活用、タニシの養殖事業
10	小野子	たまげた会	手づくりの溜まり場(ログハウス)建設 太鼓グループ(九頭竜太鼓)・下駄飛ばし大会
11	落倉	南天の会	南天コンクルの実施 森林資源の活用、松だけけ山の環境整備事業
12	平栗	ひらぐり会	平栗峠の整備事業、植栽、除伐など 各種イベントに出店参加
13	蛇沼	八の会	ログハウス建設、休耕田の活用事業 内外のグループとの交流

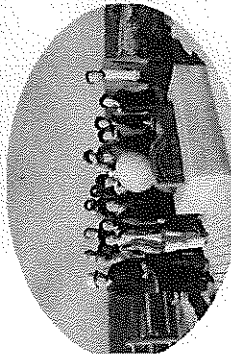
# 「まち」と「むら」の交流

知久町一丁目と上久堅原平区

## 柏原農業を考える会



会員の顔を迅速して研究

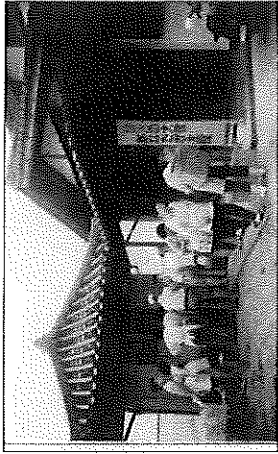


農業祭に参加 産物の出展

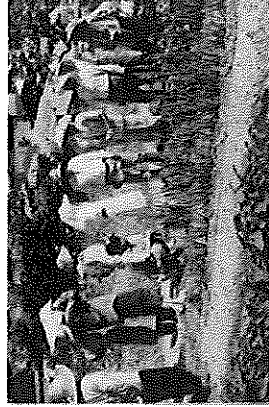
一戸例の研修旅行 日本橋をバックに



毎年、秋の収穫祭に「まち」の人達を招待して交遊する



5月～10月 月曜日休日 ほかに毎日  
82Bk前に、無人スタンドを設置  
朝6:30公会堂前に会員が出荷する  
午前10:00 開店 30～40人が待つ  
朝採り、新鮮、安価、が人気  
一袋100円



産の「松だけけ」手にする「まち」の人達

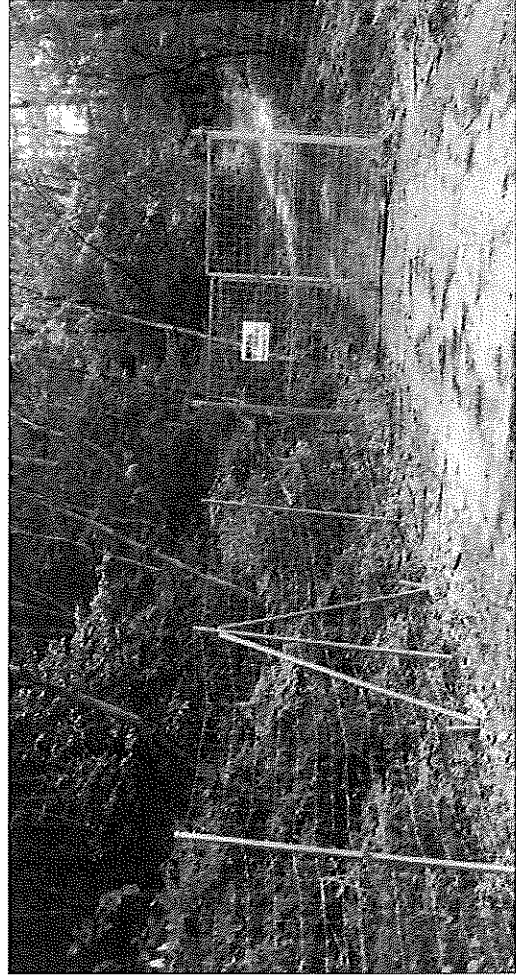
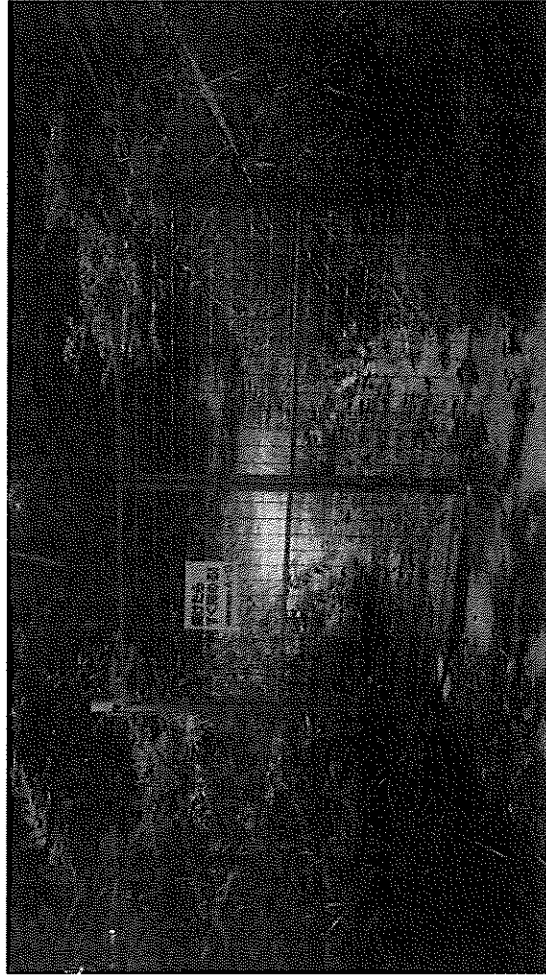


## 行政の縦糸と地域の横糸で有害鳥獣防護事業

行政の施策…農業者個別所得補償交付金 10a @15,100円 支給

地域の対応…有害鳥獣防護柵 (鹿、猪などの被害から農作物を守る)

防護柵…喬木村境～市内千代地区境の12.5km

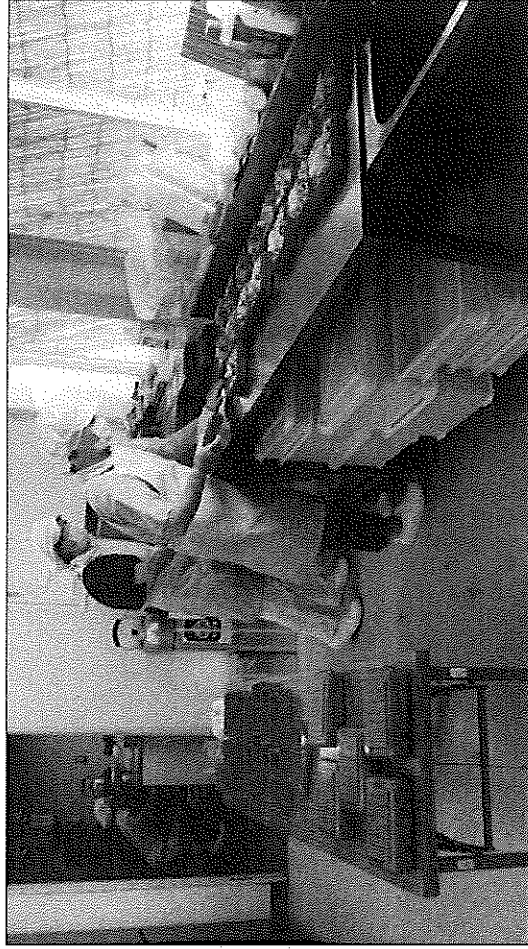


## その2

### 高齢者向き弁当の配食事業 (元農協の施設を厨房に改良)

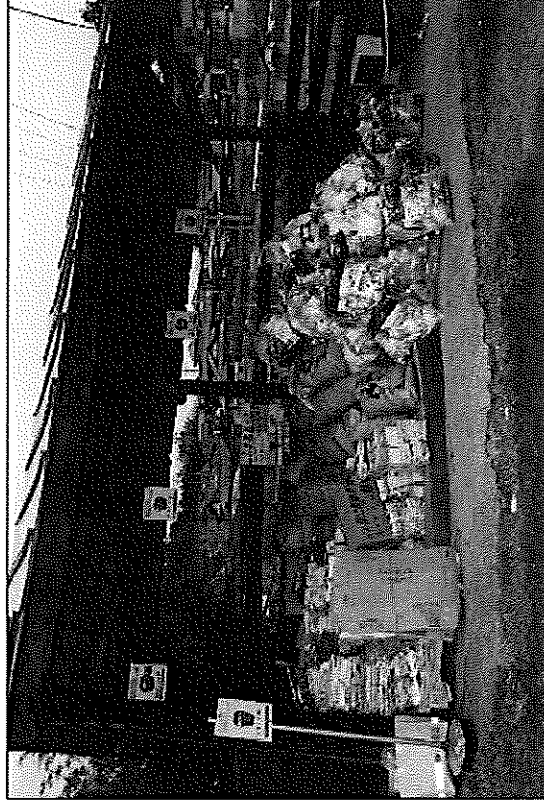
毎食 週2回 火曜日と木曜日に、希望の家庭に配食する

1食 400円 75歳以上は、100円の補助 ・農業振興会議が主催



原平区

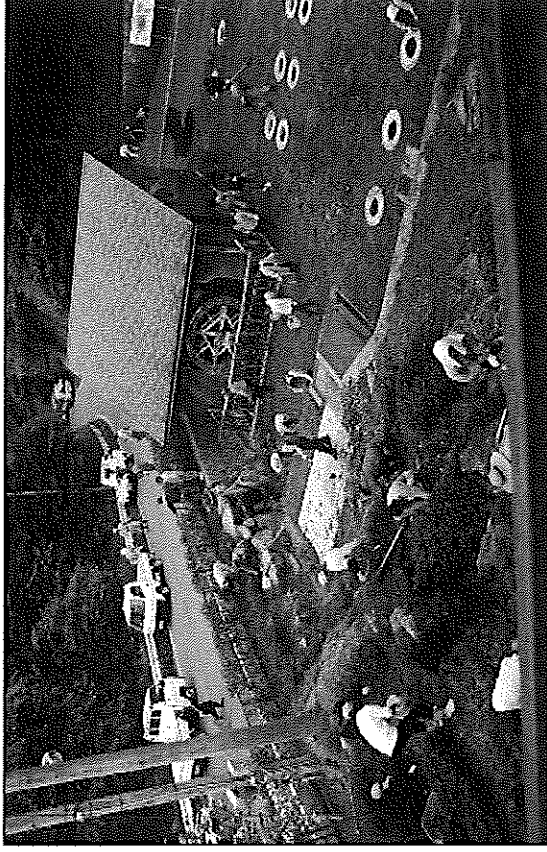
### ゴミの分別収集 (資源・焼却・埋立 別に収集)



- ① 毎週金曜日の朝 全戸から2名づつ当番が出て整理する。
- ② 袋(焼却・埋立)は有料で、各家庭が購入する。
- ③ 袋には各家庭のコードNNOを配す。
- ④ コードNNOの事例 原平上は10にTel 下2桁38=1038

原平下 20にTel 下2桁55=2055

### 柏原下水処理場(水なの苑)



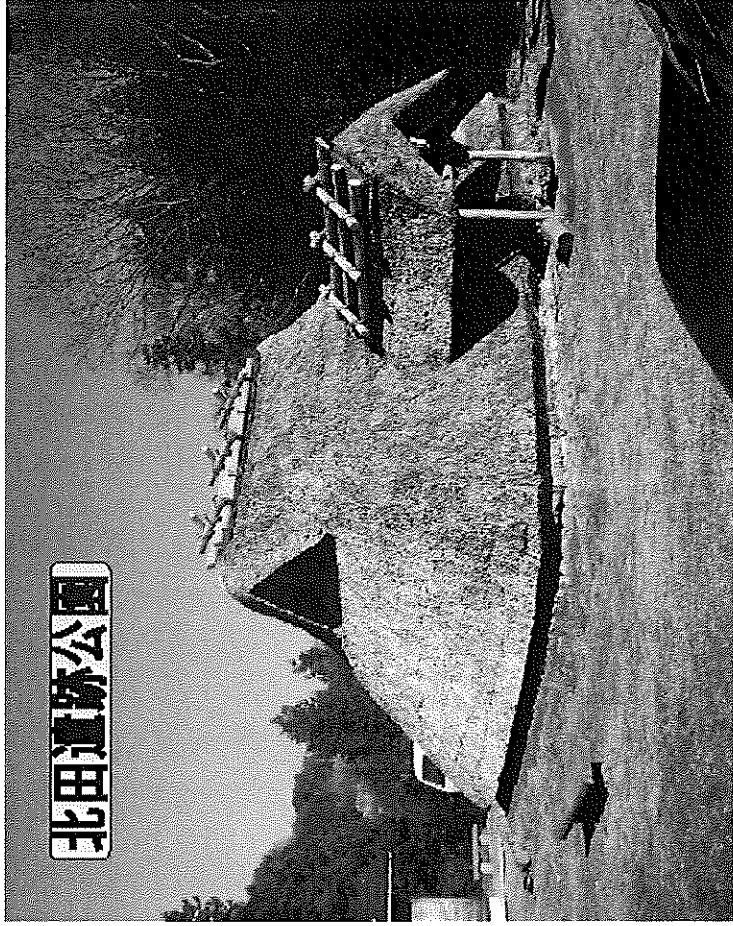
### 農業集落排水事業(農水省所管)

対象区・上久堅原平区 70世帯 -対象人口 300人

総事業費 500,000,000円 受益者負担 7% 30,500,000円  
公共部分負担 1世帯当り 500,000円

私設部分負担 1世帯当り(平均)約500,000円

## 北田遺跡公園



縄文時代(約4500年前)の壑穴住居

縄文時代、弥生時代、古墳時代の  
の複合遺跡を発掘・保存

壑穴住居2棟を住民の使役で復元

高齢者クラブが飯田市の委託を受けて管理している

## 鎮守の杜寺子屋

長野県飯田市上久堅  
主催 ひさかた風土舎

### I 寺子屋活動の動機

地域の「教育力を高めたい」との思いから、教育制度(明治5年・1919)がなかった江戸時代にも、上久堅村には寺子屋が10ヶ所、ほぼ集落毎にあった。先人達は、自分の子弟は自分たちの「学びの場」をつくってきた。この先人たちの知恵と努力に学びたいと、寺子屋を開設した。

### II 活動の具体的な内容

1 夏休みの期間中、2朝学のおすすめ、3小学生を対象、4献社会の体験、5宿題で拉かめない夏休みを目標に、1991年(別紙)から開設している

相原公会堂会場



朝6:30のラジオ体操



高学年を真ん中にして学習



お寺に会場を移して



校舎心経や座禅も行う

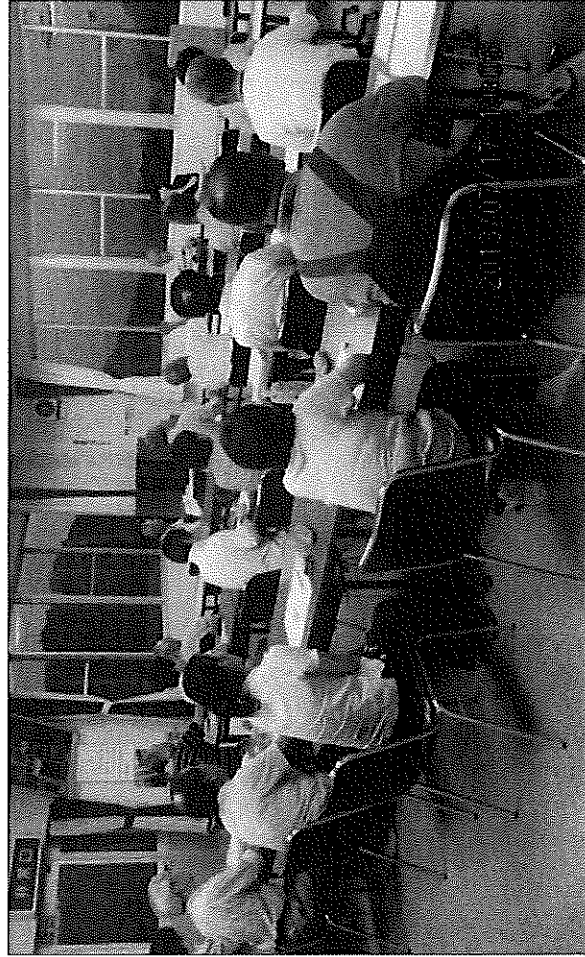
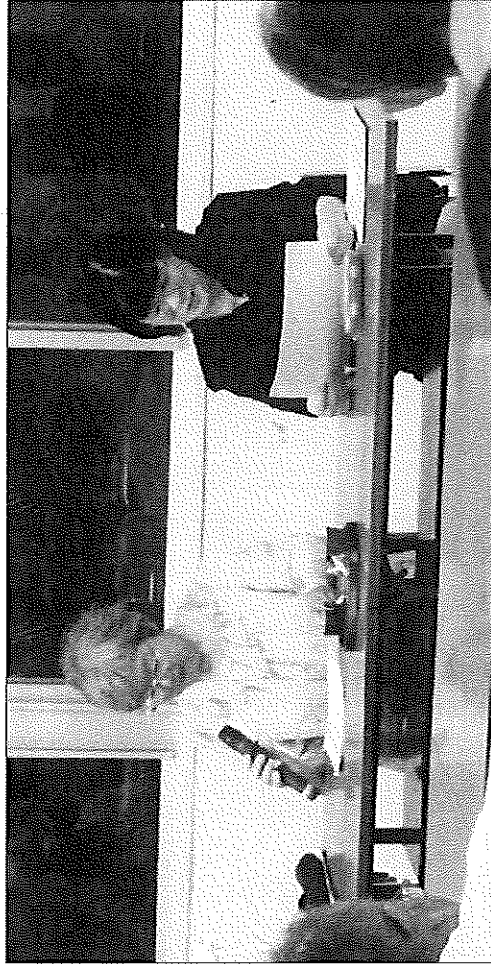
野外活動の釣り大会



## 自主的実践グループの活動 上久堅を学ぶ会

・毎月1回 定例に開催・テーマは住民のようぼうで決める

事例 第20回 上久堅を学ぶ会 『民話伝説の朗読会』

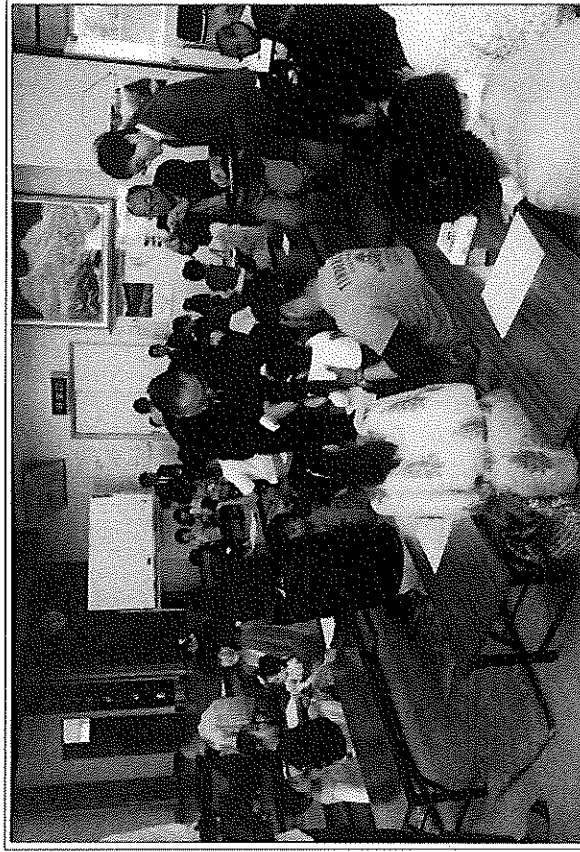


## その2 自主的組織による 子育て支援の会

“子供は地域の宝” 地域ぐるみで支援しよう

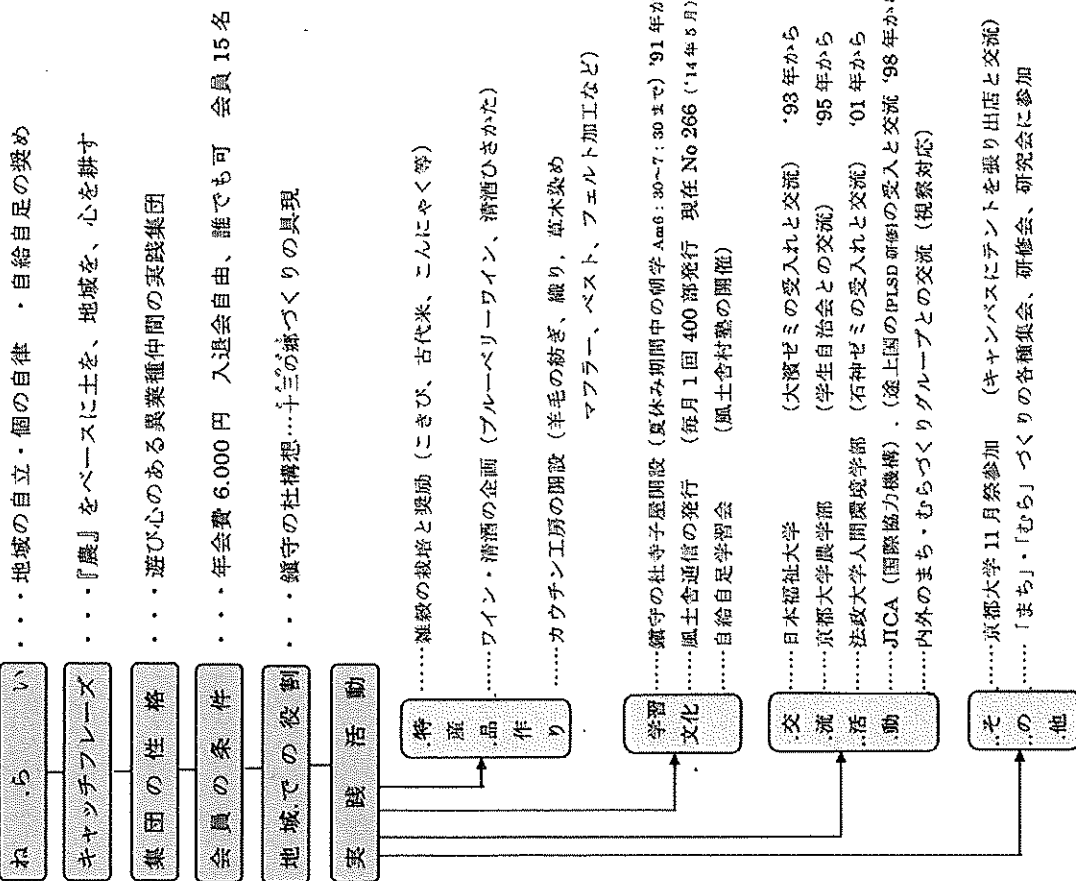
- ・組織 賛同者による自主的組織 加入者 125人
- ・決り 一口 500円 毎知き 500円×12月=6,000円
- ・支援 ・出生児、入園児、入学児童に祝い金  
(15,000円～20,000円)を贈呈する
- ・施設・団体活動の支援 (30,000～100,000円)

支援の会会長が、祝い金を贈呈 於・公民館



ひさかた風土舎の活動概要

1991年2月創設



所在地 長野県飯田市上久堅 1206 ひさかた風土舎

◆ TEL 0265-29-7338 090-2404-6737 ◆ FAX 0265-29-7338

◆ E-mail : fudosya@mis.janis.or.jp ◆ http://www.10.plala.fudosya/

ひさかた風土舎の概要



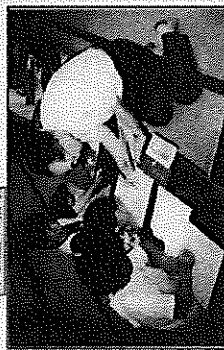
ホテルでの試飲会



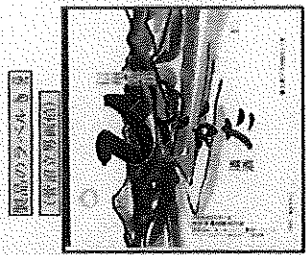
ホテルでの試飲会



ひさかたワイン研究会

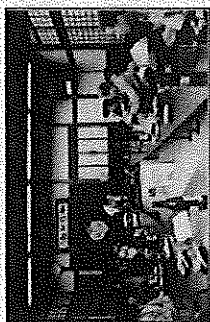


カウチン工場の様子



風土舎の活動

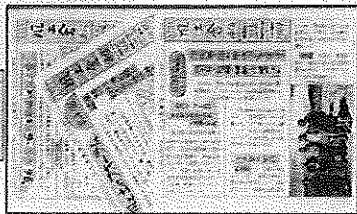
会員15人、地域の自立・個の自立を目指す  
土を、地域を、心を、耕す。異業種仲間の実践集団  
『土』は地域に住む人『風』は行政、学者等をまわ  
『か』は何時でも何処でも活動の場所に出る  
『風』と『土』を 惹んで『地域』をつくる



JICA (国際協力機構) への参加



京都大学11月祭 (キャンパス内)



風土舎通信

毎月発行中



JICA (国際協力機構) への参加



しあわせ信州

平成26年10月19日  
解体新書塾

# 草創期公民館の原点を振り返る

長野県教育委員会教育長  
(元文部科学省社会教育課長)

伊藤 学司

## — 公民館の黎明期 —

1945年 第二次世界大戦終結

1946年 寺中作雄氏(文部省社会教育課長(当時))  
『公民館の建設—新しい町村の文化施設』発刊(※寺中構想)  
『公民館の設置』に関する文部次官通牒発出

1947年 「教育基本法」公布・施行  
第1回優良公民館表彰実施

1949年 『社会教育法』公布・施行 公民館の法的根拠が示される

1951年 国による公民館施設補助金の交付開始

以降、平成9年度まで、公民館等の施設整備の補助を継続

# 寺中作雄著『公民館の建設—新しい町村の文化施設』

(冒頭部分)

この有様を荒涼というのであろうか。この心持を素漠というのであろうか。目に映る情景は赤黒く焼けたただれた一面の焦土、胸を吹き過ぎる思いは風の如くはかない一連の回想。焼トタン屋根の向うに白雲の峰が湧き、崩れ壁のくぼみに夏草の花が戦っている。

これが三千年の伝統に輝く日本の国土の姿であろうか。

あくせくと一身の利に走り、狂うが如く一椀の食を求めてうごめく人々の群。これが天孫の末裔を誇った曾ての日本人の姿であろうか。

武力を奪はれ、国富を削られた日本の前途は暗く家を焼かれ、食に飢える人々の気力は萎え疲れている。これでよいのであろうか。日本は果たしてどうなるのであろうか。

……(中略)…… われわれは熱望する。**お互いの教養を励み、文化を進め、心のオアシスとなってわれわれを育む適当な場所と施設がほしい。**郷土の交友和楽を培う文化センターとしての施設を心から求めている。みんなが気を合せて働いたり楽しんだりための溜まり場の施設が必要だ。そんな施設が各自の生活の本拠である郷土、われわれの愛する町村に一つ宛できたらなんとすばらしいことであろう。……(後略)

2

## 公民館について

### ○公民館の設置運営について(S21.7.5 文部次官通牒)

国民の教養を高めて、道徳的知識的並に政治的の水準を引上げ、または町村自治体に民主主義の実際的訓練を与えると共に科学思想を普及し平和産業を振興する基を築くことは、新日本建設の為に最も重要な課題と考えられるが、此の要請に応ずるために地方に於いて社会教育の中樞機関としての郷土図書館、公会堂、町村民集会所等の設置計画が進捗し其の実現を見つゝあるのも少なくない事はまことに欣ばしいことである。

よって本省に於ても此の種の計画が全国各町村の自発的な創意努力によって、益々力強く推進されることを希望し、今般凡そ別紙要綱に基く**町村公民館の設置を奨励**することになったから、青年学校の運営と併行して適切な指導奨励を加えられる様、命に依って通牒する。

尚本件については**内務省、大蔵省、商工省、農林省及厚生省に於て了解済**であることを附記する。

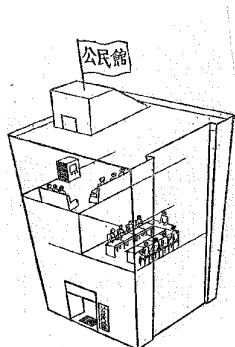
### ○公民館の機能

(『公民館の建設』S21より抜粋)

1. 公民館は社会教育機関である。
2. 公民館は社会娯楽機関である。
3. 公民館は町村自治振興の機関である。
4. 公民館は産業振興の機関である。
5. 公民館は新しい時代に処すべき青年の養成に最も関心を持つ機関である。

3

民主的社会教育機関です

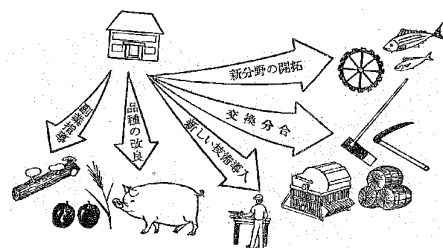


村の茶の間です

親睦交友を深める施設です



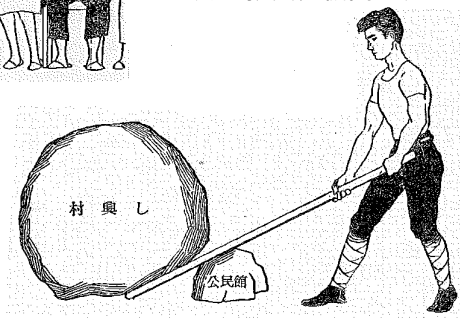
産業振興の原動力です



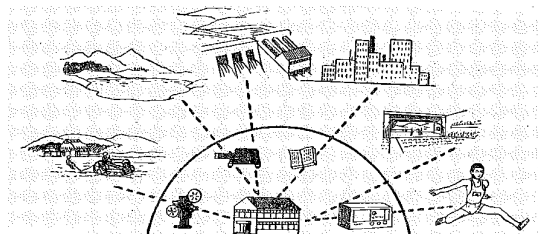
民主主義の訓練場です



郷土振興の機関です



文化交流の場です



## 公民館の編成及び事業公民館の設置運営について (S21.7.5 文部次官通牒)

### (1) 教養部

成人学級、婦人学級などの学級を置き、受講生を募集し一般教養に必要な学科を設け、社会生活に則し、善良な社会人としての資質を養成せしめること。

### (2) 図書部

教養図書などを一般町村民の閲覧に供する。読書会の開催、部落への出張指導。郷土資料等を観覧し、町の現状や産業状態に通暁している様指導すること。

### (3) 産業部

産業部に於ては町村民に対する各種産業の科学的指導を担当するものとし、之に必要な各種器具機械に依り実物教育を行ふと共に、一般町村民の利用に供すること。

### (4) 集会部

集会部は常に町村民の為に下の様な会合を計画開催して、其の集会の指導幹旋に当ること。講演会、講習会、討論会等



# 社会教育法(昭和24年6月10日)

第20条 公民館は、市町村その他一定区域内の住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もつて住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。

第22条 公民館は、第20条の目的の達成のために、おおむね、左の事業を行う。但し、この法律及び他の法令によって禁じられたものは、この限りでない。

- 一 定期講座を開設すること。
- 二 討論会、講習会、講演会、実習会、展示会等を開催すること。
- 三 図書、記録、模型、資料等を備え、その利用を図ること。
- 四 体育、レクリエーション等に関する集会を開催すること。
- 五 各種の団体、機関等の連絡を図ること。
- 六 その施設を住民の集会その他の公共的利用に供すること。

6

## 草創期公民館を作った男たち①

寺中作雄 (明治42年～平成6年)

戦後直後の昭和21年、文部省の公民教育課長時代、「大日本教育」昭和21年1月号(第800号)に「公民教育の振興と公民館の構想」で、戦後の復興と民主主義や平和文化国家の建設に公民館の構想を発表しました。その構想は、同年7月に文部次官通牒「公民館の設置運営について」で具現化され、全国に公民館の輪が広がりました。「公民館」という名称については、最初の構想で思いついたものであると言い、昭和16年に建設された水沢の「後藤新平記念公民館」については、知らなかったとしています。事実、寺中は昭和15年から17年まで、報道班員として大陸に応招されていました。同氏が記した「公民館の建設」(昭和21年)や「社会教育法解説」(昭和24年)は今でも公民館の原点を知るうえで、さらに、寺中の人物像を知るうえで「公日閉口」は貴重な資料です。関口泰は、戦後初代の社会教育局長で、公民教育課を設置し、寺中を初代課長に迎え、寺中の公民館論に対して理解を示しました。



鈴木健次郎 (明治40年～昭和42年)

鈴木は田澤義雄の講演に感銘し、望んで大日本青年団に入りました。昭和20年文部省に入省後、寺中とともに二人三脚で公民館の普及に情熱を傾け、当時は「ミスター公民館」と言われるほど、情熱的に公民館の意義を説いて公民館関係者からの信頼を集めました。公民館の実現は鈴木健次郎が実質的な役割を果たし、戦後公民館の普及に努めた第一人者です。社会教育法制定時にも担当の井内の良き相談相手でした。昭和26年5月に「公民館運営の理論と実践」が発刊されたのと機を同じく、文部省から福岡県社会教育課長として赴任しました。一時、テレビ局に席をおきましたが、その後当時の小畑秋田県知事の強い要請で秋田高校の校長になり、新任式の鈴木のみいさつの「汝、何のためにそこにありや」という言葉は後々「秋高語」として残りました。田澤義雄や下村潤人や永杉喜輔なども交流がありました。



月刊公民館より

7

井内慶次郎（大正13年～平成19年）

昭和22年文部省入所し、入所直後から社会教育法の立法に携わりました。立法化に向け、当時の教育刷新委員会や民間情報教育局のネルソンとの協議を進め、一方では社会教育連合会会長で社会学者の戸田貞三や鈴木健次郎の意見を参考に社会教育法の立法に尽力しました。

社会教育法の施行にあたって「この立法を一生忘れない日」として、上司の承諾を得て6月10日「時の記念日」としました。その後、千葉県の社会教育課長へ就任し、「社会教育の志るべ」[厨総における社会教育の総合調査]などを手掛け、井内を惹く多くの社会教育関係者が育っていきました。千葉の「井内会」は井内氏が亡くなるまで続きました。

「静かにじっとしていると太陽に照らされて溶けてしまう。消えないで大きくなるには自分が転がって大きくなる以外にない。あぐらをかかないで動きまわろう」という、職員を雷だるまに例えた話は当時の職員を魅了しました。

岡本正平（明治42年～昭和54年）

戦前、長野県の社会教育主事補の職にあつて青年団の関係の仕事した後、教化団体の全国組織の職に就いたことから、戦後、社会教育連合会の事務局長として活躍しました。連合会は文部省との関連深い組織であったことから、公民館の普及や、最初の公民館情報誌である「公民館月報」の編集に携わり、「全国公民館連絡協議会」の設立にも大きな役割を果たしました。また、長野県は昭和21年7月の文部次官通牒以前の4月、全国に先駆けて同県の社会教育計画案の構想として、公民館の趣旨、設置及び管理、施設、運営などを発表しました。長野県は公民館数日本一の県で、公民館の発表も全国に先駆けており、また当時の妻籠公民館は昭和21年9月に発足し、これも公民館設置の第一号と『長野県公民館活動史Ⅱ』に記されています。こうした際には岡本正平が大きな影響を及ぼしたことが考えられます。



8

## その後の公民館のいばらの道

- 補助金と設置運営基準による拡大
- 社会の変容（都市化・過疎化、生活スタイルの変化）
- 行政機能の肥大化と専門化
- 学校教育の普及拡大
- 生涯学習理念の普及
- 規制緩和・地方分権
- 行財政改革

9

# 公民館はどこへ向かうべきか

- 
- 
- 
- 
- 

10

## 長野県らしい公民館に磨きをかけよう(提言)【H24. 3】

### =信州の公民館 2つの基本=

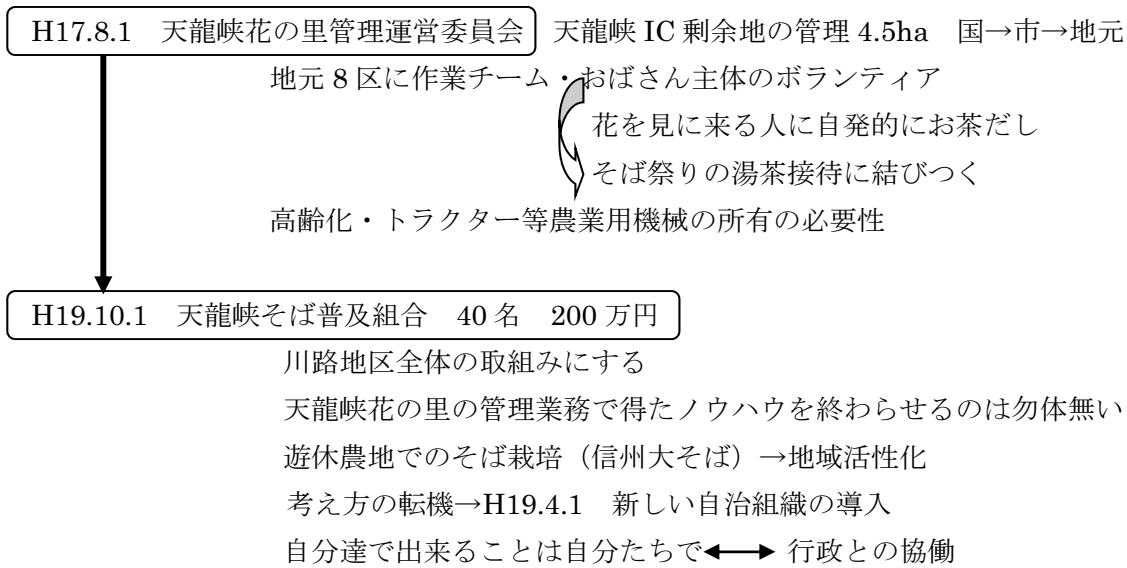
1. 公民館は、最も身近で自由に学べるところ  
～最も身近な学習の拠点～
2. 公民館は、学習と実践を通じて、みんなの地域をつくっていくところ  
～総合的な地域づくりの拠点～

### =信州の公民館 7つの提言=

- 1 より身近な分館・自治公民館活動をしっかり支えよう
- 2 学習と暮らし・地域を結ぶことを大切にしよう
- 3 持続可能な地域をつくっていこう
- 4 学習の自由を守り育てよう
- 5 住民の暮らしや地域を良く知ろう
- 6 関係する行政や地域の諸機関などと連携していこう
- 7 公民館職員同士の研修・交流の場を大切にしよう

11

## 川路における「天龍峡そば」の取組み



### 1、実績の 1

遊休農地でのそば栽培 約 4.5ha（川路・竜丘・下瀬）

### 2、実績の 2 「天龍峡そば」のブランド化

- ① 天龍峡花の里そば祭り 第 1 回・平成 19 年 7 月（11 日間）以後 13 回  
現在は 7 月・9 月に各 2 日づつの開催 MAX800 食/日 平均 400 食/日程度  
三河・尾張・東濃・浜松初め首都圏等遠来のお客が多い、リピーター増  
そばのほか地元の五平餅・おやき・焼き鳥・農産物販売の他、売木村からもてんぷらの出店あり、イベントとして、音楽やダンス・歌の披露やポニーのそば畑内の散策もあり
- ② 第 3 公園 さくら・グルメ祭り 第 1 回平成 21 年 4 月 以後 6 回実施
- ③ 年越しそば 第 1 回 21 年 平均 600 食 汁つき 2 食 550 円 3 食 800 円
- ④ ～若返りの湯・天龍峡そば祭り～ 第 1 回平成 23 年 10 月 春と秋の土・日・祭日約 10 日づつ、天候に左右されやすいが、観光客多く「天龍峡そばご膳」大好評  
・再生館での案内・りんご園からの紹介等の効果大→地域一体の協力関係構築の必要性

特注 25 年秋から下伊那農業高校生との連携による食の提供

25 年秋は鹿肉を使ったオリジナル料理提供「鹿肉ギョーザ・ハヤシカライス」  
内外に反響大→今後に注目

26 年春も 11 日間実施 7 月予定の「天龍峡花の里そば祭り」に自前ブースをと  
今春卒業した 5 人が全員そば祭りに顔を出してくれた→一同感激

### 3、実績の 3 そば打ち

- ① 親子そば打ち教室・かわらんべ 20 組（特徴：子供が卒業するまで毎年参加）
- ② 川路小学生のそば打ち

特筆事項：川路通学合宿の開催→公民館主管で準備委員会の結成

6 月 10 日～14 日まで天龍峡温泉交流館で小学生 27 名寝食を共にする

注）地域の人々と、一つのものを作り上げてゆくことに喜びを感じて活動する主事  
初め市職員の姿は尊い

- ③ 農業体験等で川路を訪れる人達へのそば打ち→おすそわけ事業川路で高齢者の作る野菜を都会の人に送る・農業体験に訪れる・たまには野菜を作っている人が出張販売に出かける→高齢者の生きがいつくりを模索中

#### 4、表彰

平成 25 年 2 月

「遊休農地有効利用」 長野県農協中央会会長賞→川路地区農業振興会議受賞  
天龍峡そば普及組合は川路地区農業振興会議に所属  
組合の遊休地そば栽培に対して表彰された

#### H24.2. (株)農耕百花

	天龍峡そば普及組合の有志が出資 目的：地域貢献
	5名→全員取締役・無報酬 資本金 480 万円
	天龍峡そば普及組合は 8 名、残りの方は出資金返金
法人化の必要性	財産の取得、保有 他の法人との取引 会計処理等
	利益を生み出さなければ活動維持も困難→地域貢献まで結びつかない
社の方針	栽培から加工・販売まで一貫して行う 6 次産業化
今後の課題	地域貢献という目的達成のため、 <u>天龍峡温泉交流館の再生</u> <u>天龍峡への誘客活性化に如何に貢献できるか</u>
	最も具体的なもの→人材不足、高齢化→予想以上に進む

秋の天龍峡まつり  
 名勝 天龍峡温泉 若がえりの湯

# 天龍峡そば祭り

★メニュー★  
 そば御膳(限定20食) 1,500円

下伊那農業高校アグリ研究班の  
 考案したメニューも提供します

私たちが考  
 えたメニュー  
 を食べに来  
 てください  
 の手伝いも  
 しています。

ざるそば 700円  
 かけそば 600円  
 季節のてんぷら200円

開催日  
 10/19~  
 11/24の  
 土曜・日曜  
 ・祝日

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

11月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

○ 開催日

時間:11:00~14:00  
 場所:天龍峡温泉交流館食堂

■10月26日(土)は同会場で「2013ハロウィンin天龍峡」同時開催!!

主催:天龍峡そば普及組合 後援:川路まちづくり委員会 問合せ:飯田市観光課天龍峡事務所 ☎0265-27-4011

# 秋の天龍峡まつり

## 第13回 天龍峡花の里そば祭り

### 期日:9/21(土)22(日)

時間:午前10時~午後3時  
 (そばは午前11時~午後2時) \*雨天中止

場所:天龍峡花の里(天龍峡インターチェンジ隣接地)

☆催事等案内 ○地元で作った天龍峡そばが食べれます!!

ステージ内容

- おやじバンド ○地元産農産物、摘み草の天ぷら、
- 川路小スマイルガールズ 焼鳥、五平餅、おやき、
- 川路6区和太鼓グループ ソーセイ/焼き等の提供
- よさこいソーラン(飯田女子短大乱舞隊)
- リリース(ハーモニカ演奏) ○紙粘土細工教室
- パッション風越 \*内容が変更になる場合があります。
- \*足湯(名勝天龍峡温泉)に無料で入れます!!
- \*ポニーでそば畑の中を放牧することができます(子どものみ)

主催/第13回天龍峡そば祭り実行委員会  
 共催/川路まちづくり委員会・天龍峡観光開発整備推進協議会・天龍峡花の里管理運営委員会・天龍峡そば普及組合・飯田観光協会・名勝天龍峡温泉観光協会・飯田商工会議所川路支部・㈱天竜峡リゾート・飯田市後援/中日新聞社・信濃毎日新聞社・南信州新聞社・信州日報・飯田エフエム放送・飯田ケーブルテレビ

問い合わせ先:飯田市観光課天龍峡事務所 TEL.0265-27-4011 飯田市川路自治振興センター TEL.0265-27-2001

# 第6回 天龍峡 せくら☆グルメ祭り

日時:2014年 4月6日(日)  
 午前10:30~午後3:30

場所:天龍峡第3公園(天龍峡温泉交流館前)

天龍峡  
 したれ桜・竹青お花見

日時:同日 正午~

場所:天龍峡第1公園(天龍峡尾層写真館前)  
 ●豚汁サービス ●竹青 ●ぬりえ

名勝天龍峡温泉  
 若がえりの湯  
 天龍峡そば祭り  
 日:4月6日~5月5日  
 毎週 土・日・祝日  
 11:00~14:00  
 場所:天龍峡温泉交流館食堂

第2回  
 みつばついで祭り  
 午前10時30分~午後3時30分  
 天龍峡第3公園(天龍峡温泉交流館前)

主催:天龍峡そば普及組合 後援:川路まちづくり委員会 問合せ:飯田市観光課天龍峡事務所 ☎0265-27-4011  
 協賛:川路まちづくり委員会・商工会川路支部・天龍峡観光実行委員会・天龍峡この指とまれ